

会議録

- 1 附属機関の名称
犬山市総合計画審議会
- 2 開催日時
令和3年10月4日（月） 午後7時00分から午後8時50分まで
- 3 開催場所
犬山市役所2階 203、204、205会議室（ビデオ会議との併用）
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 会長 鈴木 誠
副会長 松浦 英幸、水内 智英
委員 岡村 千里、ピアンキ アンソニー、奥村 哲司、丹羽 良仁、増田 修治、
田村 奈々、森好 佐和子、鈴木 温、間中 麻耶、目黒 優衣、
本巢 芽美（ビデオ会議）
 - (2) 執行機関 鈴木経営部長
企画広報課 井出課長
高橋課長補佐
小枝統括主査
倉知主査
- 5 議事等
 - ・報告事項
令和3年度スケジュールについて（報告事項）議事
新しい総合計画「基本構想」について
- 6 傍聴人の数
0人

7 内容

(1) 開会

事務局 (井出)	<p>ただいまより「令和3年度第3回犬山市総合計画審議会」を始めさせていただきます。</p> <p>本日は、お忙しいところご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>会議の進行は、企画広報課の井出が務めさせていただきます。</p> <p>一部の委員さんにおかれましてはオンラインでの参加となっておりますが、このメンバーでは初めての対面による開催となっております。今回は、対面とオンラインの併用で会議を行うことにしました。何分不慣れなもので至らないところもあるかもしれませんが、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p>本日も事務局側に支援事業者が同席していますので、ご承知おきください。</p> <p>初めに、鈴木会長よりご挨拶をお願いします。</p>
----------	--

(2) あいさつ

鈴木会長	<p>皆さん、こんばんは。</p> <p>初めましてという委員もおみえになるとは思いますけれど、愛知大学地域政策学部の鈴木と申します。</p> <p>今回、対面で開催できるか判断に迷うところがありましたが、ハイブリッドの形で対面を導入するというので、やってみようということになりました。</p> <p>既に皆様方もそれぞれで感染症対策に取り組んでおられると思いますけれど、それを前提としながら、この会場の運用に当たっても、いろいろと注意して取り組んでおります。ただ、至らないところもあるかと思しますので、皆さんのご経験、ご見識の中で、「こうしたほうがいい」という意見がありましたら、遠慮なくお申し出いただければ、さらに改善していきたいと思っています。</p> <p>今日は第3回目の会議になりました。お手元には随分多くの資料が用意されております。皆さんの日頃の社会経験を前提として、今日与えられたこの資料を見ていただきながら、根拠として利用していただいても結構かと思ます。委員の皆さんがデータを見たり、あるいは日頃感じていることを率直に意見として出し合って、新しい知見がここで得られたら非常にありがたいと思ますし、総合計画にどしどし皆さんのご意見を寄せていただければと思ます。</p> <p>これからの時間、限られてはいますけれども、実りのある会にしたいと思いますので、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局 (井出)	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日の会議につきましては、お手元の次第に従って進めさせていただき、おおむね2時間程度、愛知県厳重警戒措置に従い、午後9時前には会議を終了させていただく予定です。</p> <p>本日は、委員総数15名のうち、現在のところ、本巣委員のオンライン参加も含めて、出席12名となっております。</p> <p>委員の過半数が出席されていますので、本会は成立しましたことをご報告いたします。</p> <p>なお、田村委員と目黒委員につきましては、遅れて参加される旨、連絡いただいております。</p> <p>また、ご案内となりますが、本審議会は公開とさせていただきます。あわせて、後日会議録も公開させていただきますので、ご承知おきくださいますようよろしくお願いいたします。</p>

	<p>会議録につきましては、事務局で作成したものに、会長の指名する2名以上の委員の署名をいただくことになっています。</p> <p>事前に会長と打合せをいたしまして、本日の会議録への署名者は、前回に引き続き、名簿順に、丹羽委員と増田委員をお願いいたします。</p> <p>それでは、事前に送付した資料の確認をさせていただきます。</p> <p>まず、別紙「はじめにお読みください」と書いてあるもの、次第、委員名簿、資料1「令和3年度スケジュール」、資料2「資料3～7総括表(抜粋)」、資料3「まちの将来像検討の視点と実態把握/分析結果」、資料4「資料3参考資料」、資料5「資料4(10～11ページ関係)詳細資料」、資料6「市民意識調査結果(18歳以上)中間報告」、資料7「市民意識調査結果(若者・子育て世代)中間報告とその調査票」、最後に、地区別タウンミーティングチラシです。以上となります。</p> <p>大変多いですが、皆さんおそろいでしょうか。</p> <p>また、本日、机の上に配席表とグループ分け一覧表を置かせていただいております。加えて、事前にお配りいたしました第5次犬山市総合計画の改訂版と第2期「いいね!いぬやま総合戦略」をお手元にご用意いただきますようよろしくお願いいたします。</p>
--	--

(3) 議事

事務局(井出)	<p>それでは、ここから議事等に入ります。</p> <p>議事等の進行につきましては、鈴木会長をお願いいたします。</p>
鈴木会長	<p>それでは、私から、進行をさせていただきたいと思います。</p> <p>まず、報告事項の令和3年度スケジュールについて、事務局から委員の皆様方に説明をさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
事務局(小枝)	<p>事務局の小枝から説明させていただきます。</p> <p>第1回の会議では、計画策定までの大まかスケジュールをお示したところで、そのときに、令和3年度中に基本構想の大枠、方向性を固めていきたいとお伝えしたところですが、いよいよ本日から新しい総合計画の基本構想に着手します。これから4回の審議会を経て基本構想を固めていくわけですが、具体的にどのように進めていくのかをあらかじめ把握していただいてから議論を進めたほうが、効率的に議論が進むのではないかと考えまして、報告のお時間をいただきました。</p> <p>資料1「令和3年度スケジュール」をご覧ください。</p> <p>上の表の上段に「総合計画審議会」とあって、その中に「基本構想」と記載しています。その右側にあるまちの将来像と基本目標。まちの将来像がさらに3つに分かれるので、細かくすると4つ。これらが基本となるパッケージだと考えています。</p> <p>現在の総合計画では、まちづくりの考え方、重点施策など、これ以外の項目もあります。ほかの自治体の計画でも、先ほどの2つないし4つ以外の項目や言葉が使われていますが、これは表現の問題だと考えています。したがって、まずは基本パッケージについて考えていきたいと思います。</p> <p>どのようにこれらを作っていくかですが、1つ目の目指すまちの姿については、キャッチコピーのような意味合いがありますので、これは来年度、素案ができるぎりぎりのタイミングを考えています。これからの審議会での議論や地区別タウンミーティング等の中で、目指すまちの姿の手がかり、ヒントのようなものもひよっとしたら出てくるかもしれないと考えています。</p> <p>2つ目、3つ目の人口の目標と将来都市の構造につきましては、まずは市の関係</p>

	<p>課との内部の調整を優先させていただいて、この審議会では1月に案を提示し、皆様から意見をいただきながら修正していきます。</p> <p>4つ目の基本目標が基本構想の肝だと考えていますので、時間をかけて案を作りたいと考えています。</p> <p>本日の会議では、基本構想だとか基本目標、ほかにも基本計画という言葉があつたりしますが、そうした言葉にはとらわれずに、およそ10年後を目指したまちづくりについて、委員の皆さんでご自由に意見を出していただけたらなと思っています。詳細は後ほど改めて説明させていただきます。</p> <p>次回、11月の会議では、議論を基本目標に絞らせていただき意見のブラッシュアップ、1月に事務局から案を提示、その後、修正という流れを考えています。これらを通じて、3月には3つ、人口の目標、将来都市の構造、基本目標について大枠、方向性を固めたいと考えているところです。</p> <p>なお、来年度、基本構想から基本計画に移行しますが、基本計画を考える中で基本構想に立ち返る必要も出てくるかと思っておりますので、3月に固めるとは言いましたが、暫定的なものとして扱い、その後も柔軟に修正していく予定です。</p> <p>なお、先ほどからあえて触れてこなかったのですが、基本構想の最後に記載してあるまちづくりの達成指標についてですけれど、現在の総合計画にはあります。ほかの自治体の事例にはないところもあります。計画の進捗を確認する上で指標は必要だと考えておりますが、現在の計画ではこれ以外にも指標がたくさんあり、進捗管理をする上で指標が多過ぎるのではないかと感じているところがあります。また、まちづくり指標以外での話となりますが、指標として正しいのかという意見をこの審議会でもいただいております。以上より、まちづくり指標を含めた指標につきましては、これを機に見直しをかけたかと考えています。時期としましては、指標はあくまで計画の達成度をはかるためのものですので、次年度以降、計画がある程度固まってから検討していくことといたします。</p> <p>報告は以上です。</p>
鈴木会長	<p>ご苦労さまでした。</p> <p>今、スケジュール表をもとにして説明をいただきました。</p> <p>この内容について、ご質問や確認したい点ございましたら、遠慮なく発言いただきたいと思っております。オンライン上でご参加いただいている委員もごおりますので、もしありましたら遠慮なく、どちらからもご発言いただければと思います。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
各委員	(質問なし)
鈴木会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>続きまして、議事の新しい総合計画「基本構想」について、事務局から委員の皆様方に説明をいただきますようよろしくお願いいたします。</p>
事務局(小枝)	<p>再び小枝からお話しします。</p> <p>先ほどもお話ししましたが、本日は、基本構想、基本計画、そういったものにとらわれず、おおよそ10年後を目指したまちづくりについて、「こんなまちにしたい」、「犬山市をよくするためにはこんなことが必要だ」、そんな観点から委員の皆様でご議論いただきたいと考えています。そのための材料として資料3から7をご用意しました。資料6、7の市民意識調査につきましては、中間報告とさせていただきます。次回の審議会ではより詳しい資料を用意します。</p> <p>資料を作るにあたって事務局で考えたことは、「総合計画とは何のために作るの</p>

	<p>だろうか」ということです。犬山市の総合計画ですので、犬山市というまちがこれから先も持続的に発展できるようにすることが大きなゴールで、そのために向こう約10年では何を指すのか。それを具体的にしたものが総合計画だと考えます。</p> <p>そこで、現在非常に大きな問題となっている人口減少、少子高齢化に焦点を当てるとともに、人口減少によってもたらされるであろう市の財政問題を補うことができるのは産業ではないかという視点に立って、人口と経済、この2つに重きを置いて資料を作成しました。</p> <p>資料の量が膨大なので、1つ1つをご説明する時間は確保できませんし、1つ1つを細かく委員の皆様に見ていただくことも、お時間を取らせてしまい非常に申し訳ないことですので、資料2としまして、資料3から7の総括資料を作成しました。</p> <p>資料2では、各資料の総括に加え、一番右の欄で、各種資料の結果から、事務局なりにこれまでの経験や、実は、前回の審議会からこれまでの間、市内企業を10社ほど訪問してヒアリングを実施しました。そこで聞き取った内容を踏まえて、事務局なりの推察で見えてきた課題を記載しています。より詳しい内容を知りたいということであれば、資料3から7をご覧くださいだければと思います。</p> <p>なお、資料5につきましては、いろいろなところに書いていますが、非公開資料となります。委員の皆様も、この場以外で使用する事ができないよう注意していただきますようお願いいたします。</p> <p>資料の説明としては、非常に簡潔ではありますが、以上です。</p> <p>本日の審議会では、委員の皆様同士でご議論いただく時間に重きを置きたいと考えております。</p> <p>資料3から7の細かな内容についてのご質問につきましては、事務局と一部の委員さんとの1対1のやりとりになってしまいますので、できれば会議後をお願いしたいと思います。ただし、皆さんで議論するにあたって、このことは確認しておかないといけないということがあれば、遠慮なくご質問いただければと思います。</p> <p>説明は以上です。</p>
鈴木会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>議事の新しい総合計画「基本構想」についてということになってはいますが、このあたりはあまり意識し過ぎないで、10年後を見据えた犬山市のあるべき取組について、自由に皆さんのお考えを述べていただきたいということでした。</p> <p>今の、まず基本的な考え方といいますか、今日やるべきことについての説明がありましたけれども、何か確認したいことはございますか。</p>
各委員	(質問なし)
鈴木会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、今の説明をもってこれから審議を進めてまいりたいと思います。</p> <p>この後、前回と同じように2つのグループに分かれて意見交換を進めていきたいと思っております。そこでいろいろと意見を出していただいて、そしてまた後で、こちらのほうに少しポイントを紹介いただくような形で全体共有をしてまいりたいと思っております。</p> <p>事務局は何か。</p>
事務局(小枝)	<p>この後の議論は、前回と同様に2つのグループに分かれてグループワークという形を取ります。グループ分けは、本日お配りしました「令和3年度第3回犬山市総合計画審議会グループワークグループ分け」をご覧ください。前回と同じメンバーとなっております。</p>

	<p>この説明の後、密になるのを避けるため、Aグループの方は204会議室へ、Bグループの方は203会議室へ移動をお願いします。オンライン参加の方は、事務局の準備が整うまでお待ちください。</p> <p>グループワーク終了後は、再びこの形に戻っていただき、前回と同様、両副会長にそれぞれのグループワークでの主な意見を共有していただきたいと思いますので、両副会長よろしくお願ひいたします。</p> <p>時間について会長に相談ですが、準備がありますので、グループワークを7時20分開始、8時半終了。8時35分に再びここに帰っていただくという形でよろしいでしょうか。</p>
鈴木会長	<p>皆さんどうでしょうか、このような進め方でいいですか。</p> <p>それでは、今のような提案で進めてまいりたいと思います。30分になったらここに集まっておくというので、ネームプレートと資料は各自持って部屋にお移りください。</p>

【Aグループ】

事務局(小枝)	<p>こちらのメンバーの目黒委員が30分ぐらい遅れて来るという話でしたので、間もなく到着すると思います。</p> <p>先に事務局から説明させていただきます。</p> <p>皆様にざっくりばらんに意見交換をしていただきたいという考え方から、この会議ではグループワークという形を取っています。前回まではオンラインでしたけれども、ようやく対面で開催することができました。</p> <p>議事は「基本構想について」とありますが、いきなり基本構想を考えましょうというところ堅苦しい感じがしますので、先ほど会長からもお話があったように、基本構想という言葉にとらわれず、「10年くらい先の犬山について考えよう」ということで、「こうなったらいい」、「こうしたい」、「こういうことが必要だ」というご意見を自由に発言していただきたいと思っています。</p> <p>こちらから送付した資料を参考にしてでも結構ですし、それぞれのお立場から発言していただいても結構です。ほかの委員さんがおっしゃったことについて、自分も「そう思っているよ」とか、この委員さんの中で話が盛り上がるとういかなと思っておりますので、よろしくお願いします。</p> <p>それでは、ここから先の進行は、副会長よろしくお願ひします。</p>
松浦副会長	<p>始めたいと思います。</p> <p>ここで中身のある意見、議論ができると、帰るときには楽しい顔で帰れると思います。そういう時間にしたいと思っております。</p> <p>盛んに「ざっくりばらんに」、「自由に」ということを言っていただいておりますので、本当に思ったことをそのままの気持ちでご意見をいただければいいと思っておりますので、お願いします。</p> <p>私も最後のほうで話すつもりではありますけれど、ビアンキ委員、何か取っかかりで口火を切っていただけませんか。</p>
ビアンキ委員	<p>私も、できるだけそのようにしたいと思っています。副会長と同じように、私も後からしゃべります。</p>
松浦副会長	<p>では、私から少し話します。</p> <p>立派な資料を作っていただいて、まず、「なるほどな」と思ったことがあります。いきなり細かいことなのですが、仕事というのが極めて構想の中では大きいなと思</p>

	<p>いました。仕事とか職場。さらにいうと、お金がついてまいります。その中で、男性の第一希望が情報通信業とアンケートで返ってきていますが、情報通信業って、聞こえは格好いいですが、一般的に何を指しますかね。</p> <p>どなたから答えていただいてもいいのですが。</p>
増田委員	<p>一般的なウェブじゃないですか。ホームページや携帯関係、SNS、通販、ゲームもそうですね。いわゆるインターネット回線を使ったもの全般だと思います。</p>
松浦副会長	<p>それがアンケートでいくと第1位。自分の時代背景とのギャップがいかに大きいのかなって。そういうふうに説明いただけると、かなり幅が広いことがわかりませんか。でも、おのずとそこが順位として上がってくるということですね。わかりました。まず、そこを最初に思いました。</p> <p>この中でもう1つ見えてきたのは、市民の人は特別変わったことを望んでいるというふうには、私は思いませんでした。日常というものを大事にしているというふうに感じました。それが今のリアルなものとして、仕事であったり、あるいは買い物、買い回り、商業施設、あるいは道路のこともありましたかね。歩道がないとか、狭隘な。</p> <p>そういうものが私は目につきましたので、市民の人は、概念というよりは日常というもの、まさに自分が生きている日常が犬山市であって、そういった観点を望んでいるなということをまず思いました。崇高な理念とか崇高なイメージというよりは、本当にリアルな生活に結びついたものを望んでいるっていうことを感じましたので、そういうことを積み重ねていくことが持続可能なのか、10年先なのかというふうに感じました。</p> <p>逆にいうと、リアルなものとは手で触れるものというふうには私は捉えるのですが、ハードというか、それはやっぱり時間がかかりますよね。それを作るのはお金もかかります。ですから、そういった点では、10年というのは、それを実現するには非常に短い時間かなと思いましたが、20年、30年先のまちづくりというよりは、今、手をかけていってもやっぱり10年ぐらいかかってしまう、ハードに関してはそんなことを感じました。</p> <p>導入の私の感想はそれぐらいにしておきます。</p> <p>また、後ほど言いたいことは言いたいと思いますけど、ほかに何か皆さんからご意見があったらお願いしたいと思います。</p>
本巢委員	<p>私がこういう犬山だったらいいなと思うのは、教育に関して、です。</p> <p>コロナになって、オンライン授業が小学校などでも始まっていますし、仕事のほうが、職場まで行かなくてもいいという生活がだんだん定着してきているので、犬山市で働かなくとも、住む場所として犬山を選ぶ人は増えてきてもいいはずですよ。そういったときに、どこに家を建てようかな、住もうかなと思ったときに、子どもの教育環境がいいと移り住んでみようというふうに働くのではないかなと思いました。</p> <p>ですので、学校での教育を、情報系を強くするとインターネット回線を強くするとか、何か今のこの時代に合った、情報系の強い教育にしていくことも一つ、移住を考える人にとってはいいのかなと感じております。</p>
松浦副会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>図らずも情報通信というのがここでも出てきましたね。やっぱり時代のトレンドですね。</p>
本巢委員	<p>ICTですね。</p>

松浦副会長	ありがとうございます。
森好委員	それこそ、インターネットなどで仕事をしていくよというのであれば、犬山でもできますよね。
増田委員	<p>できますね。私も割とネット関係、個人的に好きは好きです。</p> <p>ニュースなどでも、すごい田舎、長野県だったかな、どこかの村ですが、森林に囲まれたところで、オンライン、ネット環境だけをすごく強い電波にして、東京の人の仕事を長野県はその村が支援するといったことをやっています。村役場か何かが無料でWi-Fi環境であったり、いわゆるシェアオフィスなどをやったりして、若者の起業家であったりを支援するみたいな。一つの村おこしみたいな形で。今まで農業しかなかった村に、急にネット環境の会社の人たち、若い人たちが住み出したということがあるみたいです。</p> <p>ワーケーション。最近、キャンプやバーベキューなどが割とブームなので、それをしながら仕事をするみたいなことを提案しているということをやっていました。そういうことも村おこしとしてやっていたり。犬山市にそれが向いているかと言われると、一部の地域だけになってしまうかもしれないですが。</p> <p>私は、オンラインを強くするというのも一つですが、先ほど松浦さんがおっしゃったように、仕事がやっぱり直結すると思います。子育てもそうだし、人口もそうだし、税収もそうだし。基本的にはやっぱり仕事が直結すると思うので、さっき森好さんもお話ししていましたが、犬山市の企業でのいわゆる就職活動というか。就活するといったら、私も大学生のときにはやはり普通は全国区の上場企業とか大手に行こうとしてしまうので、そうではなくて、地元にもやりたいことができる会社があるよということを知れる機会があればいいな、私が大学生のときに知れる機会があったらよかったなどは思います。</p>
森好委員	選択肢に入っていないのではないかな。うちの18歳の子も東京に行きたいと言っています。東京に何かしら魅力があるのでしょうか。ゆっくり話せていないですけど。
松浦副会長	本当に魅力がないのか、知らないというのか。
森好委員	ただ出てみたいっていう、憧れだけかもしれないですけど。
松浦副会長	<p>いろんなものがあるかもしれませんけれども。</p> <p>マッチングという言葉、そういったことは丁寧に地元としてもやる必要がある。</p>
増田委員	そうですね。大学も犬山は少ないので、みんな電車に乗って名古屋界隈の大学に通うことが多いと思うのですが、住民票は犬山にあるので、その子たちにどうにかして「犬山にも企業があるよ」ということがアプローチできるといいなとは思いますが。就職活動みたいなああいう。
森好委員	3年生ぐらいから始まりますよね、就職活動。
ビアンキ委員	そういう情報が集まるフェアとかイベントとか、何かやればいい。そんな難しいことでもない。
増田委員	難しいことではないので、商工会とか。
ビアンキ委員	そうそう、連携して。
増田委員	<p>実際、僕らもJCをやりながら、みんな割と建築業が多いので、人手不足です。ですので、新卒でも入ってくればありがたいので、知り合えるきっかけであったり、その子たちが「犬山でも全然いいじゃん」という。</p> <p>確かに、私が大学生ぐらいのときだったら、上場企業って言葉が格好いい感じはしましたが、「そうではないよ」ということが概念として出るといいなとは思いますが。</p>

ビアンキ委員	ぜひそういうようなフェアとか、年に一回ぐらいやれば。就職や会社の紹介、そういう情報があればいいのではないかと。
森好委員	名古屋など、大きいものがありますもんね。
増田委員	あります。大転職フェアや就職フェア。新卒も転職も、両方あります。
ビアンキ委員	いろいろな場所もあるから、できないわけではないと思う。
森好委員	いっぱいありますよね、中小。大きい会社は多分目立ちますから、わかりますよね、知っていますよね。
目黒委員	サントリーの工場、P a s c o、工場があるということは聞いたことがあります、なかなか詳しく知る機会がないし、きっかけもない。
増田委員	だから、就職活動するってなったら、基本的には名古屋などになってしまう。
目黒委員	そうですね。大学でそういう説明会があったり、企業が来て説明して下さる機会があるので。私の大学ではそういうところで情報を集めたり、大学の就職支援をして下さる課がありますが、そこに行って情報を集めるというふうになるので、なかなか犬山でというのは。
森好委員	そこに犬山の情報はいいですもんね、きっと。
目黒委員	ないと思います。
ビアンキ委員	ほとんどない。だから、地元で何かやればいい。
増田委員	そうですね。親御さんきっかけで回覧板でも何でもいいですけど、「こういうものがあるよ」ということがお子さんにできる機会だけでもあれば。チャンスはあるのかなと思います。
森好委員	企業もインスタをやっているところがあって、求人票、今はネットですよ、応募も。
目黒委員	そうですね。
森好委員	みんな多分インターネットで見ているので。ライン交換しないらしいです。インスタ交換。
増田委員	会社に入ってもらおうという、やっぱり長い目で。転職もあるかもしれないけれど、犬山市に接する機会が増えるということは、その間の税収も増えるし、そこで結婚するのであれば家庭も持つ、ということは見えると思うので。要は、今住んでいる人を外に出さないように。
ビアンキ委員	そうそう。それにはやっぱり仕事がないと。大学生で、名古屋駅で説明会があれば、就職で市外にいつか引っ越していく。若い人が出ていくパーセントが上がるから、ダブルパンチになってしまう。
増田委員	利便性がいいと思うので、犬山駅もあるし。
目黒委員	私の学部では、経営などを勉強していますが、先生が「愛知県ってこういう会社があるよ」と紹介して下さります。それを聞いていると、愛知県、特に名古屋だと思いますが、大きい会社があるので、「犬山で」というより、やっぱりそういう大きい会社で安定というところが大きいのかなということは感じます。
森好委員	名古屋に行くっていう、イメージも残ってしまうし。
松浦副会長	それは否定できませんよね、都市の魅力。
増田委員	そこはそんなにまねできないところだと思うので。
松浦副会長	それはそれとして、自分たちの魅力を発信することだね。 これもアンケートの中で思ったのですが、住まいが動くきっかけ、引っ越しをする機会って、やっぱり就職がすごく大きかった。それから結婚があるかな。主に人生の大きな出来事。あと、子どもができてくると、子どもの教育環境。この3つぐ

	らいになるのだと思いますが、逆にいうと、その3つのポイントにきちっと伝えることができれば効果は大きいのかなと。それ以外のときには、あまり引越さないですよ。ですから、そういうタイミングに的確なとか、興味を引けるような発信の仕方もあるのかなと。発信の方法は、私はアナログですから、皆さんで考えていただければいいのですけど。
森好委員	アナログも多分重要です。
松浦副会長	さっき、回覧板とか言いましたよね。
増田委員	そうそう。ああいうので、親御さん世代とかはそこから。二十歳前後ぐらいの子どもたちは、そんな犬山に住みたいとか思っていないと思うので。どっちかという都会に行きたいというほうが強いと思います。しかし、就職という部分でいくと、都会だけではなくて地元にもあるからという話が一回できるだけでもどうかと。
森好委員	大学生にアクションする。もっと下の高校生とか。
増田委員	それでもいいと思います。高校生の段階から知っているが一番いいのかもしれませんがね。中学生だったらすぐに忘れてしまう。
本巢委員	Z o o mの本巢です。 途切れ途切れで、話が少し聞こえにくいので、ついていけているか不安ですけど、私、宮城県出身です。大学で東京に出てきて。やっぱり都会に興味があった女子学生の一人でしたが、仕事で愛知県に来るようになってから、愛知県の人って、愛知県で生まれて、育って、就職もして、人生を、長らく愛知県にいてという人が非常に多いなと感じました。東京にいるとほぼ外から来ますし、東北にいると外に出ていくことが多いので。愛知県、特に名古屋にずっととどまるので。 うちの大学は、地元で働きたい学生が非常に多いので、犬山市でも就職先があることがわかれば、うちは犬山市にある大学ですので、地元で何かできるかもしれないと思う学生は多いのではないかと思います。ですので、犬山で何ができるのかということ、仕事のPRもあるとおもしろいのかなという気がしました。 以上です。
森好委員	まず知らないですよ。
増田委員	そういうものが連続してあるといいかなと思いますね。
本巢委員	犬山は、建築業の人が足りていないのですか。
増田委員	建築業に限らないと思います。私達の周りはみんな職人さん。今、若い成り手がいないので。やっぱり土建業とか汗かく仕事を嫌がるケースが最近が多いと思います。うちに限らず、運送業とかもそうだと思いますが、人手不足だと思います。
本巢委員	そういうところに興味がある学生、例えばうちの経済学部だと、経済学をやってそういう方面に就職できるのかという不安があって、少し敷居が高くなっているかもしれないので、「いいですよ」みたいな。「こういう学問を勉強していても、こっちに就職することができますよ」とか知れると、うちの大学にとって、門が開けるといって、うれしい情報かなという気がします。
森好委員	それによって進路が大分。
増田委員	経営学部とか経済学部って幅が広い。肉体労働は関係ないです、肉体さえあれば。
森好委員	そういうところから、それこそ建築系の。
増田委員	いっぱいいます。職人さんでも多い。
森好委員	でしたら、大丈夫ってことですよ、経済大学。
増田委員	そうです。結局、趣味でD I Y好きになって、そのままやるという人もいます。車関係もそうですよね。車いじりが好きだから、大学は全然違うけれど車屋さんと

	か。選ぶ仕事の中に好きなことがあればいいと思います。
森好委員	就職を考えている人にそういう話ができる場所。会社を紹介するだけではなくて、「こういう考え方だよ」、「私はこうしたよ」とか。
松浦副会長	先輩とか経験者、そういう人たちのアドバイスや経験談みたいなものはすごく強いですよ。そういったものも若い子を引っ張る一つの方法かもしれませんよね。
森好委員	それも、近い年代。20代ぐらいの人の話を聞けると、もしかしたら描きやすいのかなと。
松浦副会長	引っ張るほうでね。頑張ってる成功したという人の話を聞くと行ってしまうから。
増田委員	そういうことですね。だから、地元に着して。
松浦副会長	それはそれで大変すばらしい。夢と能力のある人は無限の可能性でいいのですが、地元でも活躍する場があるとか、こういう苦労したけど何年か頑張ってる根づいたっていうような話を可能性のある若い子たちにしていくとおうことは、彼らをとどめたり引きつけたりする一つのツールになる。そんな感じでしょうか。
増田委員	そうですね。10代と20代前半ぐらいの人たちが犬山に残ってもらわないと。長い目で見ると、10年後の犬山ってそこがメイン層になってきます。10年後の犬山ってことは、多分、今、中学生ぐらいの子たちが、そのまま犬山に住んでいてもらわないといけないと思うので、何かその子たちにアプローチという、将来の仕事とかが一番いいのかなとは思っています。中学生、高校生ぐらい。
ビアンキ委員	10年後といえば、一番心配するのは財政。今は健全財政と言われていますが、本当は赤字になっていまして、調整基金から入れています。いつか、調整基金がだんだん少なくなって、パンクになると大変なことになります。それはすごく難しいけれど。ごめんなさい、職業柄。
松浦副会長	全部つながっていますからね。税金を払うのは人だから、犬や猫は税金払わないから、人に来てもらう。
ビアンキ委員	そういうことです。本当に全部のことに影響する。難しくなると、例えばインフラの面倒を見ることができない、教育にも影響があるとか、いろいろなところに影響して、住みにくくなると、また人が出ていくとか。全部考えないといけないと思います。 一般の市民は財政について状況を知らないから。それについて当局から何か。
事務局(鈴木)	税金のことだけお話しすると、基本的には市民税が、住民税と固定資産税が、ざっくり言うと50億、50億。プラス法人の住民税と法人税が、景気によりますけれど、一番いいときで18億ぐらいかな、悪いときは6億、7億。一番安定しているのは固定資産税。当然、変動があまりありません。一番変動が多いのは法人。個人は、景気が悪くなれば落ちますが、極端に、半分になってしまうということはありません。皆さんも、給料をもらっていて半分になるようなことはないと思いますので、そのような状況です。 犬山市は国から交付税というお金を少しいたっています。愛知県の市町村は、トヨタ系列の会社がいっぱいあるので、裕福なところが多いです。近隣で裕福なのは大口町と小牧市。これは多分、法人がそこそこあるということで、それが強みになっています。うちと扶桑と江南はあまり。財政力指数から言うと、江南はうちより財政は弱いです。税収や予算は、多分向こうが多いですが。ですから、この状態は、一気に解決することは少し難しいです。 一番いいのは、大きな工場が来て、しっかりとした工場を建てて、これにも固定資産税がかかりますから。なおかつ、今、議論されている雇用が増えていくというこ

	<p>とです。</p> <p>皆さんこれ、アンケートを見ていて、誤解があるかもしれませんが、犬山市は観光都市だと言いますが、観光では、税収としては、ほとんどお金が入ってきません。なかなかそこまで回ってこないです。もちろん個人の所得っていうのはあるかもしれませんが、あまり観光に関わる法人からあがってくることは、現状はない状況です。</p> <p>ですから、我々もできるだけ工場を誘致したりということはやっていますが、そういうことに向いた土地が限られていますから、結構厳しい状態です。</p>
ビアンキ委員	<p>ですから、まだまだすぐではないのだけれど、この方向に行くと10年後に厳しいと思われる。もっと早くかもしれない。でも、今はそういうピンチになるのを避けるような対策を考えないといけないと思っております。でも、非常に難しい問題です。皆さんが一生懸命やっているという状況もわかっています。でも、市民が、特にこのような会でそういう問題があるとみんなが認識したほうがいいと思っております。</p>
松浦副会長	<p>今、聞いていて、なるほどと思いました。</p> <p>人口が少なくなっていくのも、どうも間違いないですね。これは推計でどこまでとどめるかというレベルの話で、減るのはどうも間違いない。ということで、一番頼りになっている住民税も下がるわけですね。</p>
事務局(鈴木)	<p>人口が減ればということですが。今はその減り方は、多分子どもが減ってきます。だから、どんどん子どもが減っていきます。</p>
松浦副会長	<p>ですから、よほどのことをやらない限り、さっきの工場ではないですけど、税収をぽっと上げるのは難しいとなると、やっぱり効率よくお金を使っていく。それは市民が考えることではないのかもしれないけれど、かじ取り側の仕事かもしれないけれど、最も効果的というのか、投資効果のあることをみんなで考えていくべきかもしれません。取り合いという時代ではなくて。その中で、教育とか子育ての支援とか、どこが一番いいのか私にはわかりませんが。</p> <p>比較的、仕事、就職のことで若者重視、10代後半から20歳前後ぐらいの人がターゲットというか、意見がたくさん出たと感じております。</p>
ビアンキ委員	<p>松浦委員がおっしゃったとおりで、先ほど部長も言いました、観光のまちのイメージがあるけれど、本当は、それはあまり税収につながっていない。けれども、今まで観光に使っている予算が結構大きい、教育とインフラ、基盤整備よりも。そういう予算の使い方、もっと効率的に考えなければならぬ時期になるかもしれない。</p>
増田委員	<p>私も聞いていて思ったのですが、固定資産税がやはりすごく大事ではないですか。私もずっと住宅メーカーに勤めていたので、不動産関係でよく集まっていたんですが、犬山市って本当に人気ない。いわゆるハウスメーカー的な買い付けの土地として人気がない。団地を開発するといっても、犬山市はあまりやらない。この界限ですと、小牧とか大口だと分譲地を造ると売れていくのですが、犬山市で分譲地を造っても、入鹿もそうでしたが、売れ残ってしまいます。</p> <p>まちとして今、日本で一番活気がいいのが長久手市と言われていますが、何がすごいかというと、やっぱり区画整理がうまくいっています。瀬戸もそうですけれど。瀬戸も、みずの坂というところを区画整理して、ああいうところも区画整理の団地が非常にきれいだから、そこに入りたいというような形で、愛知環状鉄道とかも駅をきれいにしてとかいろいろやっていました。</p>

	<p>犬山市も多分、犬山線で行けるし岐阜にも行けるので、何かしらできると思うのですが、区画整理するところがいかんせんあまりない。ですので、本当は長久手みたいに区画整理で何百区画とかいうものができてくると、まちの雰囲気って非常に変わるとは思いますけれど、そういうことができる場所はないのでしょうか。</p>
事務局(鈴木)	<p>区画整理、もう今は難しいです。</p> <p>昔は整理することで土地の、要するに質というか価格が上がることを見込んでいました。区画整理すると、個人の土地をやるにしても目減りします、道路を走らせないといけないので。減ってもその人の土地の価値は上がっていた。上がるからこそ、例えば市が全部買い上げてもそれは赤字にはならなかったということがあったのですが、今はそういうことが多分見込めない。区画整理は難しいです。</p>
増田委員	<p>本当はハウスメーカーとタッグを組んで何百区画とかできると、ハウスメーカーもCMを打ったりいろいろやって、市の広報もしてくれるので、そういうのが本当はあるといいなとは思いますが。売れ残ったりすると、あまり手をつけたくなくなってしまって、ハウスメーカー側も協力したがない。</p> <p>常滑市、東海市だと、市長が営業に来ます。「この団地でやってもらいたい」と来ていたので、そういうことがあるのかなと思いました。そうやって分譲地が増えていかないと。見ていても分譲地が犬山は少ないと思って。</p>
事務局(鈴木)	<p>そうですね。本当はそういう人たちに暮らしていただけるといいですね。</p> <p>今は、ご存じのように単身世帯が増えていまして、小さなアパート、1人が住めるようなアパートはいっぱいできているのかな。そういうのは割と早く埋まってしまいますけれど。もちろん、人口を減らさないためにはそういう人も必要です。外国人も増えてきて、アジア系の人が多いです。</p>
増田委員	<p>単価が上がってくると、多分そういう人たちも入ってきにくくはなると思います。長久手とかは少ないと思うのですが、土地自体が人気でどんどん高くなっている。</p>
事務局(鈴木)	<p>そういう人は定着する人ではないですよ。この土地にしっかり根差して生活していこうというところまで、まだ落とし込んでいないので。一戸建てであれば、当然ほとんどが購入されて住まわれるので、最低でもローンを払い終わるまでは。</p>
増田委員	<p>分譲団地ができるといいですけど。</p>
ビアンキ委員	<p>すごく難しいけれど、五郎丸が地理的中心で、41号もある、病院もある、昔の駅もあった。よく議会でも議論になる道の駅の計画もあった。その前も、何回も商業施設とか、計画までではなくても話があって、いろんな理由があって何回もだめになった。でも、本当にそちらで何かできれば、すごくいいと思う。</p> <p>だから、犬山で働いていなくても、例えば名古屋に行くにも便利だし。いろんな規制がすごく厳しい状況ですけど、それをどうやって乗り越えるのか。力を入れたほうがいいと思います。県のルールがあるので、頑張ってください。</p> <p>41号沿い、名古屋からここまで、いろいろ開発しています。犬山だけがそれはないので、まちの発展にはあまりよくない。県にそれを理解していただく。頑張ったほうがいいと思います。</p>
増田委員	<p>鵜沼も区画整理できいいになりました。あそこも200区画ぐらい。川越えてすぐの鵜沼の新しい区画整理のところは売れました。しかし、犬山側は全然です。新しい団地があればいいと思います。</p>
事務局(鈴木)	<p>あまり現実的な話をしてもあれですが、県の土地利用の考え方が違うというところに落ち着いてしまいます。</p>

増田委員	だから、あの辺で買ってしまう。犬山で探していた人も、鵜沼に住んでいます。
事務局(鈴木)	先ほどの、要は市街化区域にしか家が建たないということをご存じかと思えますけれど、ビアンキ委員が言われた41号の両側は市街化区域ではないので、そういうハードルがあって、県はなかなか新たな市街化を認めてくれません。
増田委員	なるほど。調整区域の撤廃が。
事務局(鈴木)	そうです。まだ市街化区域が開発しきれていないでしょと。乱開発を防ぐための法律ではありますが、岐阜県はその辺の考え方が少し違う。
増田委員	単純な感想ですが、私は全然感じていませんでしたが、ほかの市町村から来る友達によく言われることは、「犬山って道細いよね」とよく言われます。5mくらいの道路が多くて、区画整理だと6mプラス歩道なので、実質7～8mくらいですよ。ですから、「犬山って道細いよね」って。その印象で、犬山に住みたくないという友達とかがいました。
目黒委員	駅前のところも危ないなと思います。
増田委員	運転に慣れていないと、狭いと思う。
ビアンキ委員	特に古いところ。 しかし、それも難しいもので、例えば城下町は道路が広がることで、雰囲気を壊してしまう。やっぱりこれから造るもの、四季の丘とかは、まあまあ道路が十分。これから造るものは配慮して、もう存在しているところ、特に城下町はどうしたらいいか。
増田委員	羽黒とか楽田は結構狭い。
ビアンキ委員	城下町ではなくても、そういうところはまだある。
森好委員	昔ながらのそのままです。
増田委員	真っすぐではないですよ、道が。
森好委員	城下町もクランクありますからね。
増田委員	そう、変なクランクばかりですよ。
松浦副会長	エリアの特色があります。 私は城下町に住んでいますけれど、あれはどうにも触ってはいけないのだろうなと。文化財の中に住んでいるということで、現代人が我慢しろということかかなと。一方通行ばかりですし、狭いことはわかっているのですが。 だけれど。現代的な住環境のレベルをクリアしたものは供給しなければいけないと思いますから、それが団地であったり。 それから、随分さきのほうに出ましたよね、工場を誘致、造成を含めてかな、主に県が工業団地を造っているけれど。 あと、さきほど五郎丸の商業施設のこともありました。私、最初に言いましたが、これはリアルで触れるものですよね、ハードですから。だから、これは相当お金もかかります。人の土地を触ろうと思ったら、相当時間もかかりますから、相当な気持ちと粘り強さを持たないとやれないとは思いますが、ハードを整備していくということは、そういうことだと認識しないと、「1回2回やってみてだめだったから、やっぱりできません」では、ハードは絶対にできないから。ハードはそういうものだという気持ちで、これは10年先よりもう少し長いかもしれませんが、それは必ず続けていかなければいけない。 冒頭で出てきた若い子たちへのメッセージっていうのは、まさに10年という視点でやっていけますから、両方、私は必要なのだろうなと思います。 住宅の話が出まして岐阜県側のお話が出ましたが、愛知県、桃太郎神社の辺り

	<p>からよく見えるところですよ、木曾川の向こうの。地理に詳しい人だとわかりますが、あそこを見ていて、木曾川があふれたらいいのかなって思います。あそこに住んでいる人には申し訳ないですけど、あそこに堤防がありません。そのまま住宅に水が上がってくる。それこそ100年、300年に一度ぐらいの水かもしれませんけれど。</p> <p>よく犬山は災害に強いって言われます。アンケートにもたくさん出てきましたから、これはやっぱり気がついている人は気がついているし、PRはどんどんできると思います。</p> <p>災害に強いということは多分、自然的な要因とか地形的な要因ですから、それは人間の力では、なかなかまねができないはずですよ。例えば、埋め立てたところなんか液状化が起こるとよく言いますから、名古屋の半分ぐらいはそんな土地だと思います。ですから、災害に強いということは、本当に自然に与えられた恵みだと思います。それは若い世代とか住宅購入の人たちにはかなり大きい要素になりますから、こういうこともやっぱりPRしていく必要があるのかな。災害に強いっていうのはキーワード。</p>
鈴木会長	<p>すみません、私も参加させてもらっていいですか。</p> <p>なかなかおもしろい話を聞かせてもらいましたけれど、2点だけ。</p> <p>10年後を見据えてということなので。私は大学でそれこそキャリア支援委員というのをやっています、就職支援をやっています。学生たちの製造業とサービス業の、新卒で入るときの初任給が今どんどん上がっています。ものすごくいい。特に女子学生に対する評価はどんどん高くなっていて、将来も高くなっていきます。大学に限りませんが、女性の学習習得意欲と能力の高さ、特に愛知県の子たちの高さは、どの企業も高く評価しているので、これから自分の生活を大事にしながら仕事をし続けていくと、間違いなく生涯の収入が高くなって、男性よりもよくなる。</p> <p>それは置いておいて、22歳で就職をして、初任給が今大体21万から25万の範囲です。どうですか、増田委員、皆さんのときよりもはるかにいいでしょう。</p>
増田委員	<p>いいです。18からだと思いました。</p>
鈴木会長	<p>要は20代の収入、月々の収入と年間収入は間違いなく上がっています。30代前半でもほぼほぼいいです。つまり、結婚適齢期のときの収入というのはそれなりにいい。給与、賃金プラスいろんなものを含めていい。だから、それをうまく使えるサポートが必要です。</p> <p>犬山のアンケートを見ると、このまちから出ていきたいという人はあまりなくて、愛着があって住み続けたいという気はあるけれど、仕事はどうしてもないと出ていく。さっき本巢委員が言われたように、オンラインと通いとハイブリッドにこれから間違いなくなっていくし、企業もそういう選択をしないと勤めてくれる人がいなくなってしまう。ですから、間違いなく働き方改革が進んでいく。そのときにお給料がよくなっていく。</p> <p>その使い方をサポートするシステムがない。例えば、副会長がおっしゃったように、住宅を選択する、安全なところを選ぶ。仕事であるとか遊ぶところはどこ。みんな、お金を持っている若者たちが、ばらばらに考えていかなければいけない。それは、20代の前半まではそうだけど、25歳から35歳までの間っていうのは、次に世帯を作るために、お金をどう有効に活用していったらいいのかと若者たちは考えています。そうすると、住んで、そして住宅を買って、働いて、結婚して、子育てをして、犬山に暮らしているとトータルでどういうメリットがあるか、ということ</p>

わかりやすく支援、情報提供をしたり相談に乗っていくコンシェルジュのような制度が市の側にあるとすごくいい。それを民間と行政が一緒にやってもいいし、民間は民間でやってもいいし、行政は行政でやってもいいけれど、そういう少しお世話をやくようなサポートがあると。

今、20代30代前半の人たちはお金が入ってきているので、それを有効に活用したいと思い始めるのが26歳から。そして実際に使うのが20代の後半、そして30代前半、30代半ばぐらいまで。その後になると、だんだんお金を使うところは本当に自分の満足のためにブランド物を購入したりということになって、パートナーともどこのこのという選択肢がだんだんと小さくなっていく。だから、お金が入ってくる20代後半、特に使い方について考え始める20代半ばから30代にかけてを上手にサポートしていくことを徹底して研究したほうがいい。

その部分が、今回のアンケートを見ても、やはり外にお金を使っていく対象になってきているので、そこをサポートしていくとこれからいいのではないのでしょうか。そういう面ではトータルなので、若者生活設計コンシェルジュっていうようなプロジェクトを立てると、これは10年後可能性があるかなというのが1点。

もう1点は、先ほどから高齢化ということを行っているけれど、高齢になると入るものとして、年金があります。年金の議論はしなくていいのかなと思いました。

今、犬山市は年金収入額、年金収入予定額は年間いくらぐらいでしょうか。税金がかかるものではないので、市はあまり真面目に考えない。しかし、年金って結構入ってきていて、特に、犬山は名古屋に通勤している人が多いので厚生年金の収入が入ってきているので、毎月大体20万円前後入ってきている。犬山は物価が安いので、そこのところで固定支出として出ていくことは少なく、みんな、お金の使い方を提案すると結構乗ってくる可能性がある。つまり、高齢化すればするほど市が獲得するお金は少なくなっていくけれど、個人が使う可処分所得は間違いなく保証されているので、その部分を上手に使っていく仕組みを作っていく必要がある。

それが実は、ここでいうと、先ほど若者たちにビジネスチャンスがないといった情報通信関係、ここの部分が今の年金を上手に引き出してもらおう仕組みを考えていく分野でもある。今、その部分は地元にないので、今回の地域産業連関表、37ページを見ると、94億8,000万円ぐらいが市外に出ている。マイナスの状態ですよ。地元は、製造業が頑張っているんで、そこで収入が入っているけれど、情報関係、副会長が「これはなんだ」とおっしゃったところが非常にビジネスでは市外の企業に頼っているわけだけれど、その部分を誘致するのではなくて、こういうお金を使う層が高齢になれば出てくるので、ますますこれから増えていく時期が一定程度あるので、その部分のお金の使い方を。例えばECサイトなどを使ってうまく出してもらって、使ってもらえるようなシステムを開発する。そういうソフトを開発するとか、アプリケーションを開発するとか、情報教育。さっきICTの話が出たけれど、そこはグローバルなビジネスをやるためのICT教育だけではなくて、コミュニティを充実させていくためにお金をどう使ってもらおうかということを上手に促していくICT教育のやり方を考える。それが何かっていうことを検討していくのも、この10年間とても楽しいのではないかと思います。

私、あと10年という年金がもらえるのですが、結構バラ色の人生を考えています。もう子どものために使わなくていいし、ローンは終わるし、さて何をしようかなって。いろいろなことを考えますが、そういうサポート、年金の使い方はなかなか、保険会社、銀行以外はありません。もっともっと市のプロジェクトとしてやっ

	<p>てもいいのではないかと私は思っています。</p> <p>これには、実は根拠があって、愛知県の新城市で、年金受給者へのアンケート調査とインタビュー調査をやりました。そうしたら、10%強ぐらいが、自分は年金の使い道がない。もうお金は十分使ったし、今もあるし、これ以上贅沢をしたくない。むしろ、若者たちが何かビジネスに挑戦したいとか、社会に役立つビジネスをやってみたいとか、そういうことを考えるのであれば応援してもいいと。お金を使ってもいいし、投資してもいいと。見返りは要らないというぐらいの話もされて、インタビュー調査をやっても同じような結果。</p> <p>ですから、高齢者の中には、もちろん自分の生活でいっぱいの人もいるけれど、きめ細かく調査していくと、高齢になって自分の次の人生を考えたときに、儲けるためとかそういう動物的なことではなくて、社会に役立つ暮らし方、社会と接点を持ちたいという人たちが確実に増えているので、それに合わせてお金を使っていく、年金を使ってもらえるように促していくことが大事ではないかと私はすごく思います。年金の上手な利活用についてということも、これから高齢者の可処分所得を高めていく、そこからビジネスを新しく作っていくということを考えていくと、すごくチャンスがあるような気がします。</p> <p>以上です。</p>
松浦副会長	<p>10年先の、冒頭からよく出てきた「持続可能な」、どうしても若い子に目が向いていて、そちらには、今、目を向けていなかったです。</p> <p>私、60代ですが、やりたいことやったりあります。それは若い子より強いかもしれないです。というのは、与えられた時間が大して長くないから。体力とか気力のバランスを考えると60代ぐらいなのかなと思います。もちろん、70の人も80の人もいろんな楽しみはありますが、情報通信の話ではないですが、年齢のギャップで、どうしても置いていかれる部分があります。そうすると、60代は比較的皆さんとお付き合いができて、相手にしてもらえる。ちょっとしたスポーツも一緒にできる、そういう感じです。そうやって考えると、60代の人にとっての10年は極めて大事なのかなと思いました。</p> <p>20年先よくなりましようと言われても、死んでいる可能性があるから。若い子より年齢が上の人にとって一年は重たいというか、大事なのかもしれない。そういう意味で、そういった世代に向けての10年の提案というものはあるなと思います。</p> <p>なぜこんな話をしたかという、私、60代が体力的に何とかいけるぎりぎりだと思って、今年の春に1000ccのオートバイを買いました。70過ぎたら乗れないだろうなど。乗り続けていれば乗れるかもしれないですけど、しばらく乗っていませんでしたので。今だったら、あと6年7年、若い子と一緒にツーリングに行けるなと思いましたので。例えばの話ですけど。</p> <p>さっき先生が言ったように、若い子の役に立ちたいと、踏み台にして欲しいとか、そういうものも考えることも一緒かもしれないと思いましたから、改めて次の10年がどうも若者にターゲットを絞って過ぎてもいけなかったかなって。</p>
鈴木会長	<p>若者のためにお金を使いたいという気持ちもすごくあります。</p> <p>例えば、私、大学の教授をやっているけれど、若者のためにすごくお金を使っている。うちのゼミ生のため、それからうちの孫のためにどんどんお金を使っているけれど、全然苦にならない。これは生理的なものなのかなと思います。ですから、自己投資ももちろんするけれど、それは若い頃にできなかった消費という部分を勇気を持って最後に頑張っちゃおうというので、1000ccのバイクだっけすごく大き</p>

	いですよ。
松浦副会長	<p>それは、自分でもわかっていますが、内向きなんです。自分の欲求の満足なのだけ、「若い子とツーリングに行きたい」ということが入るのがポイントです。「年寄りと一緒にツーリングに行きたい」ではなくて、若い子と行きたい。自分が失敗したこととかけがしたこととか伝えてあげれば、なお結構です。内向いているようで、外を向いているのかなって思いました。</p> <p>好きな話は楽しいですね、趣味の話は楽しくなります。みんなが生き生きと話ができるような環境っていいなと思います。</p>
増田委員	<p>さっきの話で、お金を市に落とすっていう仕組みも大事です。市で買い物をしてもらう。</p> <p>私も昔から常々思うのですが、犬山って、外食も大体外に行ってしまう。小牧とか、飲みに行くのも、各務原などへ行ってしまふ。買い物も、大体各務原、鵜沼のほうや小牧のほうへ行ってしまふ。例えばボウリング、カラオケ、犬山にないです。そういう犬山市民のためのレジャーが本当になんないっていうのは昔から思っていました。ですので、そういうものが少しでもあつたりすると、もしかしたらもう少しお金が落ちるのかなと思つたり。</p> <p>それは民間の人が起業してやる話なので、とやかくできることではないかもしれませんが、企業のそういうところの誘致はしにくいのかな。昔、聞いたことは、木曾川があるから半円になるので、大手チェーン店は来にくいみたいなことを聞いたことがあります。県境だから。商圈の、円で書くじゃないですか。半分に切れてしまふ。</p>
事務局(小枝)	<p>商圈という話でいくと、川もありますが、東ほうが山になっているので、山を越えていかないといけないというところが大きいのかなと。</p>
増田委員	<p>市で遊べるところが少し。</p>
目黒委員	<p>私も、中学生のとき、友達と遊びに行くといつたら絶対m o z oに行つていて。中学生くらいのときに犬山にm o z o級のイオンができという噂を聞いて、みんなそれをすごく楽しみにしていました。</p> <p>なかなか、今、犬山にあるところで、犬山に住んでいる私たちが遊びに行くということもないから、友達と遊びに行くのも普段の生活も、どうしても市外になってしまう。若い人たちみんなそうだと思います。</p> <p>一方で、そういう大きいものを作つたとして、「犬山に合うのかな」みたいなことは少し感じます。やっぱり歴史とかそういうものをアピールしているし、市民もそういうところが犬山のいいところと思つているから。そういうところをほかの市に住んでいる人とかにアピールしていくつてなると、イオンができたら少し変わつてしまふのかなとは感じるところです。</p>
増田委員	<p>遊びに行くところは昔からないイメージ。</p>
目黒委員	<p>そうです。ほかの市に住んでいる人は、「犬山いいよね」と言ってくれますが、なかなか住んでくれなくて。</p>
増田委員	<p>犬山城以外に何もないからね。イオンもないって話になる。</p>
ビアンキ委員	<p>やっぱり場所としても川沿いで、そちらで遊ぶ場所を作れば、特に新しいホテルができるので。そのホテルの会員が多いらしい。今、中国人が多いから、どこかにない、本物の文化を味わいたいと思う。だから、ある面で犬山はいいですけど、やっぱり大人なら夜になると食べに行くとか、少し遊びに行くところがあまりないので、うまくいくのかなと心配しています。</p>

増田委員	普通の居酒屋さん、本当はないですから。
ビアンキ委員	川沿いにレストランとか飲み屋とか少しだけ。何か、ライブハウスとかあればいいなと思います。言うのは簡単ですが。
松浦副会長	ただ、もったいないですね。せっかく人が消費しているなら、よその市町で落とすということは。 私、あまりそこを気にしていなかったのですが、車で5分行くと結構大きなスーパー、扶桑のマックスバリュー、川を渡るとイオンタウンがあります。そこによその市町というラインがあるだけで、生活する上には、たったの5分ですから、羽黒駅より近い。歩いて行けばもっといいのですが、それは無理として。 やっぱりもったいない。
増田委員	お金を結局落としているので。
松浦副会長	行政も苦勞して、税を取ろうと思っているのに、こっちでばっばっば外に出しては。もったいないという感覚をもっと全員が持って。そういう気持ちを持たないと、なかなか持続的なまちづくりはできないかもしれませんね。
増田委員	昔だったら、地域振興券ではないですけど
森好委員	今もありますよね。
増田委員	そうですね、似たようなものは今もあります。プレミアム商品券。ああいったものを継続的にやっていくことも大事です。
森好委員	買って子どもに渡しました。市内で買い物をする。足がないので。
松浦副会長	自転車ぐらいでね。
森好委員	そうですね。運転免許取得中なので。コンビニとか駅近ぐらいで利用してもらって。渡して使わせてもらって。
ビアンキ委員	我々の住んでいるところも、私も60を超えているから、車がなくなると住みにくくなります。自然の中にいるから、どこも行けない。
松浦副会長	大体時間が来ましたが、最後にということはないんですけど、ぜひもう一言つていうご意見がありましたらおっしゃってください。いいですか。
本巢委員	Zoomの本巢です。 すみません。音がモールス信号にしか聞こえなくて、後半ほとんどついていけてなくて、申し訳ありません。
松浦副会長	好きなことをこのタイミングでおっしゃっていただいても結構です。何かありますか。
本巢委員	唐突なことを言ってしまいそうですけど。 今日言いたかったことは言えたと思います。きちんと聞き取れなくてすみません。次はちゃんと向かいます。 お返しします。
松浦副会長	ありがとうございました。 では、時間の都合もありますので、ここで閉めていいですか、事務局さん。
事務局(小枝)	事前にお伝えしましたとおり、35分からまたあちらの会議室でお願いします。

【Bグループ】

事務局(井出)	企画広報課の井出です。よろしく申し上げます。 対面で皆さんとお会いできてうれしいです。ありがとうございます。 これから、先ほどの話で8時30分までグループに分かれてということになります。皆様にざっくばらんに意見交換していただきたいという形で、こういう形でや
---------	--

	<p>らせていただくということになります。</p> <p>議事、基本構想についてというふうにあります、「基本構想とは何ぞや」みたいな話でやると、なかなか議論も堅くなりますので、本日は、10年くらい先の犬山が「こういうふうになったらいい」とか「こうしたい」あるいは「こういうことが必要だよな」ということをご自由に発言していただきたいと思います。そのために今回資料も膨大になっていますが、参考にさせていただいて、それぞれのお立場から感じることであったり、こういうふうがいいということをお話しいただければ結構です。</p> <p>他の委員さんがお話になられたことに対して、私はこういうふうに感じるとか、それに対してこういう視点もあるねという形でいろいろ、クロストークという形で意見交換できると議論も厚みが出るのかなと思っております。</p> <p>それでは、ここからは水内副会長、よろしくお願いたします。</p>
水内副会長	<p>対面ですので、割と自由に意見が言いやすいのかなと思いますので、よろしくお願いたします。</p> <p>8時半までということで1時間強ありますので、割と議論も色々できるかなと思います。</p> <p>少し目を通していただいているかと思ひますし、先ほど、全体の資料2の説明と要点をまとめていただいていたたり、人口減というようなところにどのように対応していくのか、それに対して経済的な面でどう支えていくのかというような総合的な方針も示されていますので、そういうことに関してでもいいと思います。それぞれのお立場から、「普段の生活からこういうことが気になっている」ということでもいいと思いますので、それぞれ一回ご意見をいただきつつ深めていくというふうにしたいと思いますが、いかがですか。よろしいですかね。</p> <p>では、間中委員から順でよろしいですか。すみません、急に。お願いたします。</p>
間中委員	<p>どこの市町村も一緒なのかなと思いますが、やっぱり高齢化が進んで、かなり人口を圧迫する、高齢社会だなということは感じました。私、自分自身は子どもが3人、3姉妹でいます。そこにいるとあまり感じませんが、明らかにそうだなということはすごく思いました。</p> <p>かといって、人口が、少子高齢化といって、子どもが増えるとか人口を増やすということは非現実的なのだろうなという中で、何か犬山市として魅力を打ち出していくことを考えると。</p> <p>うちの子どもたちに質問があった内容を聞いてみました。犬山で働きたいかと聞きましたが、外に出たいとやっぱり言います。ですので、犬山市で若者が働くことを強制することも違うなと思ったりもする中で、具体的にはあれですけど、外に開けて、しかも犬山で働けるようなことをうまく。名古屋に行ったり、東京でオンラインもあります。そういうことを子どもたちがここ犬山でできることを何かやっていけるといいのかなということはすごく思ひます。</p> <p>犬山、環境としてはものすごくいいなとは思ひて、自然もありますし、お城、歴史もすごく感じられるので、そういうところの魅力を伝えつつも、外とつながって働けるようなことができるといいのかなというのが1点。</p> <p>あと、やっぱり犬山駅周辺とそうでないところで、明らかに違いがあるなということはこの資料を見て感じました。犬山駅の周辺に私は住んでいます。そうするとやっぱり外に行く機会はあまりありませんが、そんなに差を感じてはいなかったのですが、実際、資料を見たり、こういう事業に関わる中で、楽田の人たちがこちら</p>

	<p>のことをどう思っているかといったことを聞く機会があったので。そういう施設を利用したりするときにも交流がもっと持てるような。</p> <p>分断という言葉が今すごく出ているかなと思いますが、分断を埋めるというよりは、お互い知ったりするだけでも結構、一緒に関わると全然壁はないような気がする時もある。私はヨガのインストラクターをやっていますが、他の地区にシニアヨガに行ったりさせてもらう機会が今後あつたりもするので、そういう分断で決めつけるのではなくて、交流を持てるようなところ、そういうことができるといいなと思いました。</p> <p>以上です。</p>
水内副会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>新しい暮らし方みたいなこともあるのですかね。オンラインが広がってくると、自然の豊かなところに住みながら外に開いている。住んでいるところは犬山で十分というか、犬山の中に住んでいてという暮らし方、犬山にとっては勝機なのかもしれないと、お話を伺いながら。</p> <p>私も資料を見て初めてそういうことなのだなと思いましたけれど、市内での地域差といいますか、そこもこの10年でどう計画していくかということ、グループの中で話し合ってもいいのかなと思いました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>岡村委員、よろしいですか。</p>
岡村委員	<p>今のことからいいますと、確かに地域間の違いとかがありますけれど、それぞれにコミュニティの組織もできていて、そこはそこなりのやり方といいますか、結構その地域ではまとまっているのかなということは感じます。この地域間どうのという、まだちょっと不十分な点があると思いますけれども。</p> <p>私はやっぱり安心して暮らせるまちがいいかなと思っていて。衣食住と言いますが、着るもの、食べるもの、住むところ、そういったところから。</p> <p>特に住むところについては、住環境が整備されていないというか、まだ不十分だという意見がありますね。建て売り住宅とか、ちょこちょこことはありますが、ほかのまちに比べると少ない。できたら、そういったことも市の施策としてできるのかなと思います。やっぱり若い人たち、非正規雇用だったり、いろいろなことがあるので、例えば家賃補助だとかそういったことで。長野県なんかで、結構まちおこしとかあっていうところではありますが、そういった制度とか。</p> <p>市営住宅がありますが、昭和30年代に建てられたままのもので、壊れるまでずっと使って、その人が住まなくなったら壊すというやり方ですが、ほかの市町では、鉄筋の建物で市が安く入れるようにというところを作っているところもあります。そういった部分での暮らしやすさというのでしょうか。</p> <p>特に私、美濃加茂に働きに行っていました。そういったところからすると、「岡村さん、犬山に住むってことは結構地価も高いよね」と。県境なので、可児とかそこら辺の人たちは、やはり検討する中で犬山も入れます。ですが、いろんな点で、ちょっと高いから、可児にしようということも結構あって、そういった点から、若い人たちが住みやすいような住まいも必要かなと思います。</p>
水内副会長	<p>そうですね。家賃が高い。それこそ名古屋に比べると安いっていう私の中での主張もあるのですが、そこで考えると家賃が高いってことが結構なハードルになっているのかもしれない。経済的な現実的な問題。</p> <p>それに対して、市営住宅の積極的活用であるとか家賃補助みたいなところを考え</p>

	<p>て、積極的に若い世代がまず暮らしを始められるっていう状況を整えていくことも、環境ということと同時に重要ってことですよね。自然とかそういうことも整っていますが、経済的な面をもう少し重視してもよいではないかという。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>奥村さん、お願いします。</p>
奥村委員	<p>今日の会議の前にいろいろいただきました資料を、特にアンケートを中心に見てきました。自分なりに、こういった考えがあるのか。一方で、こう思っているのかもしれないところ、私の感覚と同じだなと思うところ、いや、これは何だろうと思うところを考えてみました。少し長くなるかもわかりませんが、申し上げます。</p> <p>最初に、問4-②に、災害が少ない地域だというご意見が結構ありました。データに南海トラフのハザードマップがありましたが、私はこの地震よりも濃尾地震、内陸型の地震のほうが影響が大きい。ちなみに、どこかで調べたのですが、何人か亡くなっていらっしゃる。データを飛ばしましたが、出てきましたら申し上げます。市史で調べましたら、何人かの方が亡くなったらしい。ですから、その地震を意識したほうがいいのか。</p> <p>そういうPRがないとすると、どうしてもマスコミ報道では南海トラフの地震のことが大きく取り上げられますので。そちらも、それはそれで考えたほうがいいのかと思いますが、やっぱり内陸型の地震を意識したほうがいいのかと思います。それをPRすることによって、この意見もどうかかなと思ったりもしました。</p> <p>次に、問4-④では、観光都市というのが72.6%、一方、歴史・文化都市というふうに評価された人が37.9%ありました。このあたりが将来のあれなのかなと。</p> <p>いろいろ見ていきますと、いつでしたか、おっしゃっていたこともありましたが、観光客だけのよう観光都市ではいけないと、そんなようなことを感じました。</p> <p>それには私、地域の活力を創出するためにはいろいろなもの、例えば教育と文化、福祉と文化、観光と文化とか、産業と文化。そういうものが重なり合うといいますか、そういう空間といいますか、そういうものを作ることが、調べますと、文化的コモンズという捉え方をすることがあるようですので、そういうものを連携するといいいのかかなと思ったりもしました。</p> <p>次に、問5-1～6のところ、市民参加の活動が盛んとおっしゃる方が35.7%で、一方、ざくっといいますと、盛んと言う方とそうではないと言う方の差が、35.7対36.7と評価が分かれているかなという気がして、この辺りにも課題が見えてくるかなという気がしました。</p> <p>若者が活躍する場に対しては、17.7対59.1ということで、先ほどもおっしゃっていらしたように、若者が活躍するところがないのかなと。男性の方が就職するところはあるけど女性の方はというのを見ると、そういうこともあるのかなと思ってみたりして、そうすると、そういうところに、若者が活躍できる場を作るところに課題が見えてくるのかなと思いました。</p> <p>問5-7～14では、産業についてという中で、特に市内で買い物をするという方は結構多いです。3分の2ぐらいいらっしゃるのですが、多分このアンケートのとり方、年に一回でも買い物をすればやっぱりここでイエスになると思うのですが、自分自身振り返りますと、例えば量、頻度でいくとどうなのだろうと。このアンケートのデータとはならないのではないかなと思ったりしました。それはいろんな意見の中にも結構あると思いますので、この指標のとり方はどうかかなと感じました。</p>

	<p>次に、問4-③に、これが一番ポイントになると思いますが、アンケートに回答された方の、住み続けたいと思う、思わないという中で、いろんな意見がありました。その中で一番多くありましたのが、「子育てがしにくい」が45.5%で1番でした。</p> <p>私がぱっと思いましたのは、0歳児保育が充実していないのかなと思って、調べていただきましたら、そうではないと。犬山市、結構頑張ってやっていたらというふうにとりましたので、何だろうねということをお枝さんとも話をしましたら、何なんだろうねと。こういうところも課題が見えてくるのではないかと。</p> <p>2番目に、道路・下水道の未整備ということで意見があった方が38.2%、第2位でした。意見を見ていると、歩車道分離が十分でない。私もウォーキングするので、狭い道で、ここは歩きづらいなと思ってみたりするところがあるなど。それから、遊歩道整備がされていないということもありましたので、そのあたりに課題が見えてくるような気もいたしました。</p> <p>また、38ページの間6にありまして、どんなまちにという中で、居心地がよくて歩きたくなるまちということもありました。</p> <p>一方で、18ページの間3-25でしたか、徒歩や自転車で安全ではないという方がありまして、やっぱりこういうところも課題かなと。戻ると、道路の未整備かなと。下水についてはちょっとわかりませんでした。指標を見ても、特に下水道はあまり感じなかったんですけど、歩道とか道路の整備のことかなと思ったりしました。</p> <p>もう1つが、問4-③で教育環境がよくないという意見がありました。一方で、問5-37で、小中学校の教育が充実していると思う方が46.4%いらっしゃるということはどういうことかなと。ここはわかりませんでした。そう思わないという方も21.3%ありますけれども、46.4%の方が小中学校の教育が充実しているという評価していらっしゃるの、ここはわかりませんでした。そう思わないという21.3%の方に課題が見つかるのかなと思ったりもしました。</p> <p>ちょっと長くなりまして申し訳ありません。以上です。</p>
水内副会長	<p>非常に丁寧に読んでいただいていることがわかって、そこまで全然読み切れていないので、反省をしているところですけれども。</p>
事務局(井出)	<p>今のところでよろしいですか。</p> <p>最後の非常に痛いご意見、ご指摘のところ、私の役所人生の中でいろいろ市民の方から聞いたことなどを少しお話しさせていただきます。</p> <p>子育てしにくいというご意見のところ、実はこれ、前のこの計画策定のときにもアンケート等で意見が出て、審議会委員さんの中でお話があったかなと思うのですが、そのときに委員さんがおっしゃったのは、「犬山市、子育て支援施策はいろいろやっているけれど、PR下手だよ」ということを言われました。やっぱり幾らやっても、市民の方にきちんと「やってるね」と伝わらないといけないということで、それを心に刻んでやろうとしてきたのですが、これを見て、まだまだ足りないということがわかったことです。</p> <p>道路・下水の基盤が整備されていないというところで、我々よく話していることは、例えば楽田の工業団地のところに公園小牧線という道路が走っていますが、我が事ながら、舗装があそこボロボロだよという。前に市民からも投書がありましたが、小牧とか大口から犬山に入るとガタガタになっていると。おっしゃるとおりなので、そういったところが市民の方にとったら非常にわかりやすいと言っ</p>

	<p>けませんが、感じやすいところなのだろうなど、これも心に刻んでおります。</p> <p>3点目の、教育環境がよくないという点は、昔から犬山、教育にいろいろ力を入れているところではありますが、外から来た市民の方から言われることは、「犬山、校舎古いよね」、「小中学校の校舎、大口町と比べると古いよね」ということはよく言われました。</p> <p>そういったこともあるのかなと思ったので、少し感想を述べさせていただきました。</p> <p>以上です。</p>
奥村委員	<p>今の校舎古いというお話、先ほど0歳児保育のときに、私、あまり発言してはいけないと思っていたのですが、小枝さんと、ソフトのほうは保育もいいのだけれど、園舎が古い。施設に課題があるなという話をしていたのですが、同じことかなと。</p>
水内副会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>議論すべきいろいろなポイントが示されていて、時間が足りないのではないかなと思ってきました。</p> <p>地震災害に対して、内陸型の地震の周知がこの地域ならでは、必要ではないかということ。</p> <p>観光都市、歴史・文化都市ということを作っていくときに、観光客と住民とのつながりをどう作っていくか。住民を巻き込むには観光モデルが必要ではないかということ。文化的コモンズという言葉も出てきましたが、観光だけではなくて、文化・教育・産業なんかが相乗的に、そうやって関わることで地域の活力を生んでいくんだという考え方は、非常に犬山市らしい計画が作れるのではないかなと、お聞きして感じました。</p> <p>若者が活躍することがないということで、若者が活躍できる場所、それから男女差のギャップを埋めていくことがまず重要だという話。</p> <p>買い物ものことも出ていましたが、井出課長が言われていたような、住み続けたいと思うかどうかということで、子育て支援施策を行っているにもかかわらず市民に届いていないということがあるかもしれませんね。その原因を探っていく必要があるだろうということ。</p> <p>歩けるまち、ウォークアブルシティなんて言ったりしますが、そういうまちに果たしてなっているのだろうか、ということへの要望も高いですし、舗装道路とか校舎の話も出てきましたけど、公共、これも全国的な課題だと思うのですが、お金がない中でいかにそういうインフラを維持していくか、また、新しく魅力的にしていけるのかということが、市民の人たちが感じる満足度に直結しているのではないかと、そこの話も深めていくと恐らくいいのだろうなど少し感じました。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>今までの委員の方々の意見を踏まえてでもいいと思いますけど、それぞれまた聞いていきたいと思います。</p> <p>田村委員は。</p>
田村委員	<p>すみません。遅くなりました、田村です。よろしくお願ひします。</p> <p>学校の話が出ていたので、このアンケートと関係ないかもしれませんが。</p> <p>最近、個人的にいいなと思ったのが、中学校の制服が替わりましたよね。性別関係なく、ズボン、パンツスタイルなども選べるようになったことが、単純に動きやすいし、LGBT、時代に沿ったということももちろんありますが、単純に若者が若いうちから生活していく上での選択肢がたくさんあるということはすごい</p>

	<p>いことだなと思っています。あまり細かいことまではわからないですけど、私が中学校に入ったときよりも、制服のスタイルとかいろいろ変わってきたこと、単純にいろいろ選べることはいいことだなと思って、その辺は最近の犬山の学校関連でいうとよかったことかなと思います。</p> <p>まだ変わったばかりで、学生さんたちの声は聞いていないので、どういう反応なのかわかりませんが、私が見た感じではいいことではないかなと思っています。</p> <p>アンケートの話だと、「総合的に見て犬山市は魅力あるまちだと思うか」という話では、大体72%が「ある」というふうに答えているので、魅力あるまちだと皆さん思っているということなのですが、それに比べて、14、15ページの暮らしについては、結構赤色の「いいえ」が目立っています。交流する場、魅力があるか、市が実施した意見交換会とかに参加しているか、住民活動を行っているか、今後行っていきたいか、という設問には、結構「いいえ」が目立っていて、魅力あるまちとは思っているけれど、それ以上、何かを「新しく自分で考えていきたい」とか「変えていきたい」みたいな、積極的な感じではないのかなというのが現状なのかなと。</p> <p>魅力あるまちというものが、一方で、愛着があるという感じなのかなと。愛着はあるしこれからも住んでいきたいけれど、それ以上自分が表立って何かを積極的にやっていきたいと考えている人が少ないことが寂しい現状ではあるかな。とりわけ若い人に少ないということであれば、やっぱり私も少し寂しいなどは思います。</p> <p>みんな犬山のことは好きなのだろうと思うけれど、よりよくしていきたいというふうにはあまり、まだ消極的なのかなというのが、全体的に見た私の印象です。</p>
水内副会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>確かにそうですね。ここはかなり、どうしてかなと思っているところではあります。満足度が高い一方で、市民参加が、かなり行政としては努力されているところだと思いますが、そこでなかなかまだ関わりしろが少ないということが、恐らく将来的に犬山の活力を奪っていくことにもつながるのかなと思って。どうやって自分が主体的に市民として活動したり行政にかかわっていくことができるのかということ、どうなのでしょうね。特に若い世代がということですけども、そこも今後の10年を考えるとかなり重要なのではないかなと思ったりはします。</p> <p>続きまして、丹羽委員、よろしくお願いします。</p>
丹羽委員	<p>アンケートの結果も見せてもらいましたが、前にZoomで皆さんご意見を言われて、私がショックだったのが、若い女性の方が言われましたが、買い物は名古屋か岐阜のほうへ行きますという話を聞いて、やっぱりそうなんだ、同じ意見だなと思いました。岡村さんが言われましたが、私も前回言いましたけれど、私は食文化が一番大事だと思っていて、そういうものが犬山にあるかという。特に、皆さんもそうだと思いますが、私は県外、各務原市に住んでいますが、そこと比較したときに何が違うのかということがわかりやすい。会社は犬山にあるのですが、食文化が非常に乏しいなと私個人は思っています。</p> <p>各務原市は食が豊かというか、店も多いし、選択肢もいろいろある。いい例は、笑い話ではないですが、ラーメン街道みたいなものがあります。16m道路の東海中央病院から岐阜のほうに向かってラーメン街道みたいになっていて、非常に激戦区、そこに有名店が入ってきます。そうするとそこに活気が出て、コロナ禍でも、皆さん行列をなして並んでいる、ラーメンを食べていらっしゃるという。歴然とわかります。</p> <p>一番大事なことは、高齢化に向かっては、やっぱり犬山に若い人が来てもらって、</p>

そこで生活ができる環境を作らないといけないのかなとまずは思います。そういう中で、この前も話したかもしれませんが、衣食住が大事です。マーケットもありますけれど、「住」についてもここは非常に厄介な土地柄です。なかなか家が、工業団地しか建たないような状況、それを取り払わないと多分難しいんだろうなとは思っています。

当社も工業団地の近くに会社がありますが、市街化調整区域になってしまって、なかなか工業団地ができにくいですね。確かに観光はいいですけど、観光で成り立つのかというと、成り立たないから、今こういう状況になっているのではないかなと私は思います。どういうことかということ、観光をやっている、そこでお金を落とす人がいなければ観光は成り立たないということが現状なのです。確かに景観はきれい、水はきれい。きれいなところはいっぱいあるのですが、そこにお金が落ちる仕組みがないから、みんなお金を落としていかないという現状があるのではないかなと思います。そういう面では、やはり「食」は大事だし、そこに住みたいと思うと、そういった建物を建てるのが大事だと、これがまず私の先回からの意見です。

もう1つ私が思っていることは、このコロナの中で当社もテレワークというものがあって、在宅勤務とかいろいろやりました。何を言いたいのかということ、うちの事業に関しては、仕事は別に出社しなくてもできる、ある程度の範囲はできる。そういう中で、必ず都会へ行って働かなければいけないというルールはない。逆に、今、東京や大阪といった大都会では、事務所をなくして地方に来て、地方で仕事をしてもらい、いわゆる遠隔で仕事もできるという体制もできつつあります。

何を言っているのかということ、この犬山でも若い人たちが仕事ができる環境を作り、ここに本社を置いて、ここで税金を落とせるような仕組みがないと厳しいのかなと。別に東京や大阪、福岡に行かなければだめだという話でもなくなっているのではないかなと。そういうチャンス、スタートアップ企業を市が支援する体制を作ると、ある程度若い人たちも根付くのではないかなとは思っています。

もう1つ思っていることが、必ず循環型で経済が回っていくような仕組みを作ることが大事です。いわゆる地産地消の物事の考えがきちんと成り立っているというふうにしなないといけない。例えば、野菜一つについても、他県から購入したものをお店で加工してお客さんに売っている、ではなくて、やっぱり犬山の地で採れたものを加工してここで落とすというように、循環できる社会を作っていくことが私は一番発展できることではないかなと思います。

そういった中で、私どもは自動車業界にいますが、やはり今SDGs。このアンケートにも少し書いてありましたが、少し寂しく感じました。「SDGs知っていますか」で終わっていますが、そうではなくて、大事なことは、カーボンニュートラル、2050年にゼロにするという目標があるわけです。そこに向かって、循環型の企業を作っていくということで、再生エネルギーの問題とかいろいろ、会社の中で取組をやっていますが、そういった循環するようなものの考えをやっていかないと、この先は難しいのかなと思います。

SDGsに取り組んでいる市がいっぱいあります。そういうことに真剣に取り組まないと取り残されてしまうということがあって、17のゴールと169の目標がありますが、それに向かって何かをテーマアップして取り組んでいくという市の構造にしていくことも大事なかなと。

当社も含めますけれど、なるべく循環できるものの作り方をしていかないと意味

	<p>がないという取組はしていますけれど、そういうことが成り立つ市にしていけないかと思えます。</p> <p>まずもって私が言いたかったことは、私が住んでいる各務原市とは少し犬山は異質で、食が本当に乏しいと感じる。</p> <p>話が変わりますが、名経大の学長さんも言っていました、学生さん、海外の学生さんも含めていっぱい来るけれど、住まいはどこかという、犬山に住んでいらっしゃる方が少ない。そういうことは、若い人がこの地に住まないというか住めないというか。確かに、データにもありましたが、安いです。安いですけれど、住む場所がない。交通の便もやっぱりないということがありますよね。</p> <p>私が愕然とするのは、41号線をずっと名古屋から犬山に向かってくると、大口近辺から景色が変わります。何もなくてずっと走っている。そこまでは結構あります。道路際にいっぱい建っていますが、そこから突然景色が変わって、いわゆる田畑の光景が広がって何もなくなってしまふ。五郎丸からさらに向こうに行くともう何もなくてという状況。それが、やっぱり都市計画法などで規制されているのかなど。私はわからないですが、そういうものに規制を受けていて、そういうことができない仕組みになっているのかなど思っているのですが。本当に41号線も、名古屋から走ってくるとびっくりする。</p> <p>思ったことが、小牧北で高速道路が終わってしまっています。どうして犬山まで引かなかったのかということはずごく思えます。交通の便もよくなるし。もう少し犬山、観光がお金の落ちる仕組みになれば、明治村、リトルワールド、モンキーパークもあるし、めちゃくちゃ頑張っています、そういうところにお客さんが来てもらえるのではないかと思います、残念ながらそういうところが欠けているなど。</p> <p>長くしゃべって申し訳ないですけど、そういうところを目指すべきかなとは思っています。</p>
水内副会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今、まとめていただいたとおりですけれども、特に商業という観点から、土地利用の話もされていまして、観光の産業化ということ、それから工業団地というような土地利用とのバランスがどうかということですね。</p> <p>テレワークの普及で何となく思いましたのは、もちろん遠隔勤務ができるようになるのですが、税金が落ちないことは変わらないので、スタートアップ企業などをきちんと誘致するのが必要ではないかと。</p> <p>循環型、地産地消で経済がなせるという話であるとか、カーボンニュートラルへの積極的な取組で産業を盛り立てていく必要があるのではないかと。まさにこの10年、このスパンの先を据えた視点がたくさんありましたので、ここも議論できるといいかなと思えます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>では、鈴木さん、お願いします。</p>
鈴木(温)委員	<p>私は普段いろいろな統計を扱っているのですが、資料4に非常に興味がありました。資料4が、非常に多くのデータが入っていて興味深かったのですが、感想というか意見を述べさせていただきたいと思えます。</p> <p>まず、人口減少というのは、今、高齢者が多いということで、どの自治体も生まれる人よりも亡くなる人のほうが多く、自然減となっているところが非常に大きいので、今後人口減少が続いていくことは、もう流れからして逆らえないということ</p>

です。それは一つ、前提として考えないといけないのではないかと思います。

ただ、転入転出、これは社会増減と言いますが、ここについて高齢化は関係ありません。若い人が移動、入っているのか出ているのかということですが、これが資料4の4ページに出ていますが、これを見ると、2011年、これは震災があった年ですけれど、3・11の震災があって、それ以降と以前で転入転出、全然傾向が変わっています。ここ10年ぐらい転出超過、それまでは転入超過だった。なので、ここですらと様相が変わっているなと思いました。

いろいろな理由があるとは思いますが、覚えているのは、2014、2015年あたりから名古屋の中心部で再開発ビルがいっぱい建って、業務オフィスの延床面積がかなり増えた。ですので、名古屋の中心部に通ってくる人がその後かなり増えて、名古屋の人口もその後急激に増えたので、そういったことも影響しているのかなという気はしました。ただ、このコロナでまた少し人口の動き方も変わってきて、都市部から地方部への流れというふうになってきているので、またちょっと状況は変わっているのかなと思いました。

ただ、この転入よりも転出が多いということのもう一つの傾向として、6ページに年齢別の人口の推移が書いてありますが、これを見ると、やはり衝撃的だったのですが、20代30代の子育て世代の人口が流出してしまっている。以前は、30代なんかは転入超過だったりしていたのですが、最新のデータだと転出に転じているということで、子育て世代にとって犬山は残念ながら魅力がなくなっているのではないかとこのデータからわかります。

先ほども住宅供給の話がありましたが、18ページの住宅供給のデータを見ますと、周辺の自治体の小牧とか各務原とか可児とか、この辺りは2017年あたりに一気に増えています。しかし、犬山だけ減っています。これは少しおかしなデータになっています。大体上がるときは、全体的に経済が上がったときだったりして、一気に増えたりしますが、犬山だけは減っている。ということは、ディベロッパー、あるいは住宅供給者、ハウスメーカーなんかは犬山に住宅を造ることでうまみを感じていない。住宅を買われる方は子育て世代、これから子育てをしようとしている20～40代が多いわけなので、その人たちにとってやはり魅力的なことになっていない。

自分の話をすると、7歳と3歳の男の子がいる子育て世代ですけれど、毎日毎日、元気いっぱい男の子を相手に日々格闘しています。子育て世代にとって、そういうやんちゃな子がいると、ずっと家にはいられない。そうすると、大体公園に行っているか、ショッピングモールとか買い物するところに行っているか。遠出することももちろんありますが、大体そういうところを行ったり来たりしています。ですので、そういった子どもと過ごせる場所が果たして犬山にどこまであるのか。私は犬山住民じゃないので、その辺が気になります。ですので公園、それから、日々の日用品を買うようなお店も、徒歩とか自転車でいけるような範囲にどれぐらいあるかということが重要ななと思いました。

先ほど教育の話がありましたけれど、小中学校は確かに結構強調されていますが、その先ですね。同じ職場の人で犬山の人があります。その方のお子さんはもう大きくなっていますが、言われていたのは、「近くに高校がない」。「進学校と言われるような高校がなくて、選択肢が非常に狭い」ということをおっしゃられていて、やはり小中の先で地元になかなか残ってくれないということで、高校、大学で大体外へ行ってしまうということがあるので、そういったところも一つあるのかなと思

	<p>いました。</p> <p>もう1つ気になることとして、35ページに地域の経済と産業実態分析というものがありまして、これを見て私びっくりしましたが、従業員数、付加価値などを見ても、圧倒的に製造業ですよね。私、その印象はあまりありませんでした。確かに、国道沿いとかを走っていると、いっぱいそういった企業のオフィスであったり工場なんかがあるので、多いなとは思っていましたが、数字から見ても圧倒的にやはり製造業が強いところなのだと思います。</p> <p>一方で、犬山の良さって、やはり自然の豊かさであったり、歴史・文化だったり、あと観光都市としてというイメージもありますし、そういう良さもありながら、それが経済につながっていないのだなということが非常にびっくりしました。ですので、そういった良さを、経済だけではないのですが、先ほど丹羽委員もおっしゃられていましたが、お金を回していく仕組み、地元還元していく仕組みが必要なのだろうなど。</p> <p>そうすると、もっとお客さんが来たときに感謝できると思います。自分たちもメリットがある。もっと循環する仕組みができると、自分たちにメリットがあるので、ありがとうという気持ちになると思います。それがないと、先日、オンラインのときにも話がありましたが、お客さんに対して、自分たちにあまりメリットがないので、歓迎していないような雰囲気も少し感じた。ですが、循環する仕組みがうまくできれば感謝して、ありがとうございますという気持ちにもっとなれるのかなと思いました。</p> <p>先日、地元の人間的なつながりとかコミュニティのつながりがだんだん希薄になってきたという話がありました。これもデータから何となくやっぱり察しがついて、若い人を中心に外に出てしまっているの、地元で普段いなくなってしまう。特に仕事なんかで名古屋に行ってしまうたりして。ですから、ほとんどいない状態であれば、それはやはりだんだん希薄になります。ですので、住んでいても普段の生活がそこで行われていないので、仕事も買い物もやはり地元で行えるような仕組みにしていけば、自然とつながりができてくるのかなと感じました。</p> <p>以上です。</p>
水内副会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>かなり詳細な、非常に重要なポイントが示されたのではないかなと思います。</p> <p>やはりいろいろな課題が、1つ1つで分離しているのではなくて、つながっているということですね。わかりやすく説明していただきましたけれども、人口が減っていくということであるとか、犬山がほかの地域と比べてデータを読み解くことで苦手な部分が大分明らかになってきているということ。それから、高校の問題であるとか、住宅の問題もそうです。</p> <p>今までほかの委員の方々が言われてきたことと、課題間連鎖が起こってしまっていますね、課題が次の課題につながって行って、あるところで負のスパイラルが起きてしまっている。それをどうやったら正のスパイラルに変えていけるという、そのポイントをきちんと整理することが重要ではないかと、お話を聞いていて思いました。</p>
事務局(井出)	<p>鈴木委員がおっしゃったことで、我々今回データを分析する際に気づいたことと、仮説みたいなみたいなものを少しお話しさせてください。</p> <p>おっしゃったように、この資料4の中で36、37ページのところから、犬山って製造業のまちだなということがデータから出ています。観光や歴史・文化資源が多い</p>

	<p>ということは特徴ではあるけれど、産業の柱は何かというと、やはり製造業だということは、この数字から出ています。</p> <p>6ページで、今回人口の動態、動きのところを我々も注意して見たいと思っていました。製造業が柱ということは、犬山市だけではなくて、愛知県がそうだということで、それと似ている構造なのだろうと思います。愛知県のデータを見たところ、やはり若い女性が流出しているということが示されていました。男性の数はそんなに減らない、むしろ増えているけれど、女性が流出している。それはなぜだろうと思ったら、ものづくりのところで、女性が働きたいと思うような職場環境とか仕事、もしかしたら東京などに比べると少ないのではないかと思ったところです。</p> <p>6ページを見てみると、犬山の10代後半、20代前半は、男性は増えています。女性は減っています。もう少しよく見てみると、男性も残っているわけではなくて、男性も外に出ているのだけれど、ものづくりの都市なので、地方から犬山に若い男性が来てくれている。しかし、女性は来ていないという傾向があるのかなと思います。</p> <p>次に、先ほど問題提起ありました、35歳から40代のところでは、男性も女性も、最近に戻ってきていない。前はここの年代の世代が戻ってきていたけれど、戻ってこなくなったというところは、先ほどもお話ありました宅地供給が弱くなって、戻りたくてもいい土地、いい家がないのではないかと思います。</p> <p>これについて、先ほど小枝から話しましたが、この間企業ヒアリングをさせていただきました。企業さんも「できれば従業員を犬山市内の近いところに住ませたいけれど、住めるところがあまりない」というような話もよく聞かせていただいたということもあります。</p> <p>ですので、宅地供給というハードの部分、女性が働きやすい、働きたいと思うような職場環境、あるいはそういう業種があるといいのかなと、仮説を立ててみましたが、どうなのだろうかということです。</p>
水内副会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>非常にたくさんの指摘やポイントが出されて、まとめていただいているところだと思います。</p> <p>今一周したところで、もう少し意見を重ねたいであるとかこういう提言が今後10年のできるのではないかということを含めて、何かお気づきの点があれば、重ねていきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
間中委員	<p>女性だし、子育て世代でもあるので、すごく子育てがしにくいということには、いろいろ思い当たることがたくさんありました。</p> <p>長女が今、12歳ですけれど、最初はつくば市に住んでいまして、つくば市はすごく子育てがしやすいなと思います。</p> <p>何が違うかということ、広い公園がすごくたくさんあって、また、ベビーカーで移動がしやすい。犬山市の公園に、ベビーカーでうまく行ける公園は本当はない。しかも、すごく小さい公園があるぐらいで、本当に外で遊ぶ場所が。ひばりヶ丘公園がありますが、少し遠くて坂がすごくて、小さい子がいなくなったりすると見えにくかったりとか、そういう部分があって、安全に遊べる大きい公園は扶桑緑地になります。</p> <p>ですので、扶桑か各務原のほうか。「犬山市のどこで遊ぶ？」と聞かれると、本当に安全に小さい子が遊べるところがなかなか思い浮かばない。公園も道路の間にあって、ボールが飛んでいってしまったりして、うちの子も公園が大好きですけれ</p>

	<p>ど、なかなか遊びに行かない。そのために市外に行ってしまうということが思い当たります。</p> <p>あと、市内のお店がベビーカーに優しくないのが、イオンとかに行ってしまう。車でイオンに行ったほうが楽です。エレベーターの構造一つとっても、トイレも。おむつを替えたり、トイレ問題はすごく大きいと思います。ショッピングに、ベビーカーを押して、子どもが泣いたときどうするか考えると、どうしてもほかの市に行ってしまうということは、すごく思い当たる所だと思います。</p> <p>例えば、行く周りの道もなかなか整備がされていなくて、散歩するにも、子どもが乗っていると、ベビーカーを持ち上げたりすることってすごく大変です。実際に使わないと気づかないと思いますが、本当にでこぼこです。近くのお店に行くのにかなり段差があったりするというところはすごく。</p> <p>踏切を越えるのも結構大変だし、踏切もすごく危ないというような。小学生になっても、なかなか子どもたちだけで出かけてっていいよということにも怖さがある。行っている子はいますが、踏切も危ない、あそこで転ぶとどうなる、止まったらどうなるのと考えたら、なかなか小さい頃だと難しいかな。</p> <p>あと、校舎が古い問題。今、うちの娘は中学生ですが、それで、人数が多い割にトイレが少ないのか、半分外みたいなトイレに行っているみたいです。トイレだけでもきれいにしてもらおうと、多分子どもの印象、気持ちが違うのではないかなというイメージ。</p> <p>PRがうまくない問題ですけど、広報を見ている率がすごく皆さん高いなということに気づいて。私も何回か載ったことがあります、声をかけられます。広報をうまく使えたら、みんな結構チェックしているので、ここにいい情報、わかりやすい、キャッチー、明るい感じを使えたらいいのではないかな。</p> <p>犬山は、ママたちがまだまだネットではない気がします。結構紙媒体を見ているのかな。「にこっと」としてママたちが活動していたりしますが、ネットよりは紙媒体、チラシなどをおしゃれにしたり、ポスターみたいなものを使ってという方法をもっと駅などにすると、また違うのではないかなと思いました。</p> <p>SDGsとかも出てきて、子どもたちも興味があります。ココトモファームさんという会社が、学校でココトモファームの工場に行くか何か。そういう話をすごく子どもたちも興味を持って聞いていたりします。子どもたちが変わると、ここに残りたいと思えるのかな。思えるものができるといいなとすごく思ったので、そういうことが現実になると、きっと家も売れるのではないかなと。</p> <p>今度、道の駅なんかまたできたりしますか。そういうものに希望を持ってはいるのですが。そういうところがもっと、ママたちが働けたりもですけど、華やかな雰囲気になると、女の人も働きやすかったりするのかなと思います。</p> <p>以上です。</p>
水内副会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>奥村委員が最初に言われていた住み続けたいと、子育てしにくい理由は何だろうか、ということと重ね合わせていろんなことを考えると、鈴木委員、間中委員からご指摘いただいたような、すごく具体的なこと、公園が少ない、ベビーカーで歩けるまちじゃないといったことは、子育て世代だけの問題ではなくて、市全体のことにもめぐりめぐって発展していく。産業にもつながっていくし、住宅地の誘致も進んでいくというような。実は、小さいことと大きな課題とが結構つながっているのだから、施策をボトルネックできかせるところがどこなのだろうということ、割と注意</p>

	<p>深く戦略的にやっていると大きな効果、小さな費用かもしれませんが、大きな効果が望めるのではないかということも希望としてはありますが、今はその逆が起きてしまっているということかもしれないですね。</p>
鈴木(温)委員	<p>先ほどの間中委員の話で、つくばにお勤めだったという話を補足させていただいていいですか。</p> <p>私も実は3年間つくばにいましたけれど、まだそのときは結婚していなかったの一人だったのですが、子育て世代の人は住みやすいだろうなと思っていました。どうしてかという、公園が多いというだけではなくて、すごく緑が多いのですが、公園が連なっています。そこに歩道がずっとありまして、そこが車道とレイヤーが違います。立体交差になっているので、車と歩行者が全く別のレイヤーなので、車を気にせずずっと歩いていける。お年寄りの散歩にもすごくいいですし、もちろん子どもも安全です。緑がたくさんあるのですごく気持ちがいい空間になっています。計画的に作られた都市なのでそういうことができたのだと思いますが、すごくヒントになる場所だなと思いました。一方では、車をばんばんすごいスピードです。</p>
水内副会長	<p>歩車分離がしっかりしている。</p> <p>犬山の中でも、ベビーカーで行きやすいかどうか、トイレがきれいかどうかで大分変わるっていうことですよ。</p>
丹羽委員	<p>先ほど、ココトモファームの話がありましたよね。私もあそこの社長さんをよく知っていますが、すごく立派な経営の仕方です。お米からバームクーヘンを作っていますが、グルテンフリーの、食の安全を考えて作られているという内容で、今井の農家さんと契約されてお米を買い上げて、それでバームクーヘンを作っている。</p> <p>農業と商業と障害者という3つを掛け合わせて雇用の創出をしています。皆さん、行かれたかどうかわかりませんが、城下町のお城の真ん前にすごくすてきな店ができています。「こんなところで売っているの」という、びっくりするようなところで。そして、経済が回るようにしています。どこでもある程度商売が成り立つような、若干高いですけど、それでも成り立つような売り方をされているというのが非常に魅力ですよ。すごく考えてみえるなど。特に地域貢献という意味合いで、少し話が違いますけれど、地域の障害者を雇用している、それでも成り立っていくという商売をしているので、非常に強いのだなと思います。</p> <p>先ほども言いましたが、自分の会社もよくやるのですが、SWOT分析をよくやります。SWOT分析というものは、この地域の強みと弱みは何か、機会と脅威は何か、そういうものをきちんと分析して、そこを切るのか生かすのか判断をしながらやっていきます。</p> <p>犬山市は、先ほどから皆さん観光都市だと言うけれど、それが強みだったら強みになるような市を作っていくとイケないだろうし。経済が回る仕組みがないとだめですよ。せっかく木曾川のほとりにはいっぱいホテルがあったけれど、潰れてしまったということがあって、皆さん、本当に日帰り電車に乗って来て少し買い物して、お城を見て帰ってしまう。そこに食文化を入れて、こんな有名店がいっぱいあるのとか、こんなおいしいものがいっぱいあるというふうにお金が落ちるようにしない限り、なかなか難しい。</p> <p>犬山ホテルの後のホテルがどれだけ盛り返すかわかりませんが、泊まる場所がないと、みんな、せっかく来てもらってここを見ても、遠くから来る人は多分名古屋に泊まって、電車に乗って、犬山に降りて少し見てまた帰ってしまうというスタイルだと思います。ココトモファームで言いましたが、そこで循環していく</p>

	<p>という作り方をしないと厳しいのかなと思います。</p> <p>最初に書いてあったとおりです。やっぱり財政、公共サービスの低下、財源がかすむとやっぱり全てが悪化してまいります。お金がないと、全部悪化してまいります。人を呼びお金が落ちる仕組みができて、そこに豊かな財政が成り立って、いろいろなお金を使えるという仕組みになるような10年後の都市にしないと厳しいのかなと思います。</p>
水内副会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>非常にたくさん問題点、また可能性も出てきましたけれど、ようやく少し像を結びそうだなってところで時間切れということになってしまって、僕がまとめてしゃべるということはかなりハードルがあるのですが、いろいろ不足している点あると思いますので、ぜひ補足をそれぞれお願いいたします。</p> <p>このあたりでよろしいでしょうかね。</p>
事務局(井出)	<p>ありがとうございます。</p> <p>一旦ここで解散という形でお願いします。205会議室へ移動をお願いいたします。</p>

【全体】

鈴木会長	<p>長時間にわたりありがとうございます。</p> <p>それぞれ今日は対面で話をされまして、今までのオンライン上とは少し違う感触をつかまれたのではないかなと思います。</p> <p>皆さんのいろいろと熱のこもったお話は、事務局でちゃんと録音していますので、議事録を通して後日振り返っていただくようにしたいと思います。</p> <p>今日はあまり十分な、皆さんから寄せられたたくさんの意見を全部紹介するわけにいかないの、副会長さんが両側におみえになりますので、最初に松浦さんから、その後に水内さんから、それぞれのグループで話し合った内容で、特に皆さんにお伝えしておきたいことを3分でご紹介いただくということをお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、松浦さんからよろしく申し上げます。</p>
松浦副会長	<p>10年という一つの目標ですので、若者に対するメッセージが大事だという意見がたくさん出ました。</p> <p>1つは教育ですね。中高生ぐらいからをターゲットとした情報の提供。それは意外と犬山のことを知らないですから。</p> <p>特に、もう少し年代は上がって就職の時期に来ますと、地元どんな企業があるかとか、地元の特色というものを知らないことが多いということで、そういったところにメッセージを送っていく必要がある。そして、当然その送り方というのが、今の時代を反映してICTなど。もちろん紙の媒体もありますけれど、ハイブリッド、いろんな手段を使って届けることが大事だということになります。まず第1の就職のときに人の行動が起きるものですから。</p> <p>その次に、結婚とか出産、子育てによる住宅取得、そんなところが大きいので、そのときには「犬山が住みやすいまちだよ」、これは企業さんとの絡みになりますけれど、職住が近いとかいったメリットを届ける必要がある。</p> <p>そして、特に人が動く、行動するタイミングのときに伝える術が大事だと思います。何もなしには人間はそんなに動かないですからね、そのタイミングに的確な情報を流す。</p> <p>よく言われていることですがけれども、やっぱり道路のこととか、商業施設が少な</p>

	<p>い、住宅団地がもっとたくさんできれば、そういった意見は当然ありました。この辺はハードですから10年で実現できないこともあるかもしれませんが、そういったハードも大事です。そして、戻りますけれど、若者たちへのメッセージというソフトの部分、両方併せてやっていくことが非常に大事だと思います。</p> <p>今の若い人たち、特に新卒の方の初任給が結構高くなっていますね。この稼ぎが基本ですから、世帯所得でいくとかなりのものがありますので、そういった人たちにお金の使い方と言ったり言い過ぎですけど、それだけの力があるわけですから、そういった人たちに的確なメッセージを、これもハイブリッドで伝える。</p> <p>もう1つ、忘れがちだったのですが、高齢者ですね。高齢者は、ある程度時間やお金の余裕が出てきて、そのお金を何かに使いたい、未来に投資したいという気持ちを持っています。若者の手助けをしたいと言ったほうがいいのかもありません。そういった気持ちを持っている60代もかなりいるということで、そういう人たちに「若者を応援する手立てもあるよ」ということをお伝えする。どうしても10年という若者中心でしたけど、高齢者で年金をもらっている世代の人たちにも情報を伝えないといけないと思います。</p> <p>最後になりますけれど、私、60代ですが、すごく焦ります。体力が維持できそうなのがこの10年ぐらいかなと。もちろん、もう少し長生きするとは思いますが、若い人たちと一緒に行動ができる体力、気力というか、若者をたしなめられるぐらいの勢いがあるのは60代ということで、そういった意味で60代は1年1年がとっても大事だと思っています。私は、この60代を若者と一緒に過ごすために、今年1,000ccのバイクを買いました。若者と一緒にツーリングに行きたいから。そんな行動規範もあるかもしれませんので。どちらにしても、若い方とそうじゃない方と融合して犬山市は成り立っていますから、みんなでハイブリッドで暮らせるといいと思います。</p>
鈴木会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>若者と一緒にお金を使って、年寄りの収入を見くびるなということで、お金を上手に使いながらお金の循環を市内で作り上げようと。そこには雇用が生まれるということが松浦さんの言いたかったところで、私はそう勝手に解釈しました。</p> <p>それでは、水内さんよろしくお願いします。</p>
水内副会長	<p>Bグループですけど、非常に良い議論、様々な問題提起がされました。1時間、少し長いかなと思いましたが、全く足りなかったです。</p> <p>データを委員に見ていただきまして、まずもって子育て世代の人口流出が目立つことが大きな問題ではないかと。子育て世代にとって犬山の魅力が減っている、そういうことによって負の課題間連鎖が起きてしまっているのが犬山ではないか、それをどう正に変えていけるか。</p> <p>例えば、新築の住宅が少ない。それはディベロッパーにとっては魅力的ではない。そうすると周辺地域への流出が起ってしまう。</p> <p>また、高校がないということで、小中学校の見えないことがまたそういうところにもつながっている。</p> <p>それから、小さなことに思えるかもしれませんが、公園であるとか日々の日用品を買うためのお店であるとか、そういうハードに関わる部分も、例えばベビーカーでそこにアクセスできるかどうかということが非常に重要なのですが、例えば歩車分離が十分ではない、歩きたくなるようなまちづくりにまだまだなっていない、ウォークブルシティにはなっていないということが子育て世代の流出にもつなが</p>

	<p>ってきているのではないかというふうに、様々な課題が相互に関連していることがわかってきました。</p> <p>文化、観光、自然、そういう魅力がたくさんあることは重々周知されているのですが、それが企業の魅力につながらない、企業が恩恵を受けていないということがあって、そうすると住民の人たちにとってはメリットを感じられないので、歓迎されるまちにならないというような課題の関係もありました。</p> <p>地元でそういうふうに働くところであるとか買い物先が十分でないということが、それぞれの人たちが積極的に関わり合ったりコミュニティを作っていたり、市民として主体的なまちづくりに参加していく機会を減らしているのではないかということも読み解けました。</p> <p>同時に、今後の動態を考えていくと、テレワークが普及していく中で、どうやって本社を犬山に置いてもらえるようなスタートアップ企業を誘致できるのかということであるとか。</p> <p>食文化ということ、意外と生活の上では大事なので、「食」ということに対してもう少し積極的にやっていく必要があるのではないか。</p> <p>土地利用の話も少し出ました。公共団地の役割も非常に重要だということで、それと観光とのバランス、観光の産業化ということも併せてきちんと考える必要があるのではないかというようなこと。</p> <p>これは重複するところがありますけれど、若者が活躍できるような場所、企業も含めて、男女参画、逆行をなくしていくことが必要ではないか。</p> <p>それから、地域の活力につながるような、文化的コモンズという言い方をされていましたが、文化・教育・産業が相乗的に関わるような場所を作ることが必要ではないか。</p> <p>様々な、1個1個の課題がばらばらに存在しているのですが、それが循環しているので、小さな問題、例えばベビーカーで公園にアクセスしやすい、ただそれだけのこともかもしれませんが、それが大きな子育て世代の人口流出ってということにもつながっていくというように、そこが連関している。どこに今後10年で力を入れていくのかということをもさらに具体的に検討することが必要ではないかという議論になりました。</p>
鈴木会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>こちらの今のお話も、議事録を読むのが楽しみになるぐらい、内容が豊富にあったということが、今の先生のお話からも感じられました。</p> <p>それでは、議事録をいただきましたら、皆さんに全部見ていただきます、A、B両方を見ていただきまして、これから10年犬山のまちづくりに向けてどんな取組をしていくべきなのか、どんな目標を掲げていくべきなのか、誰がどういう関わりをしていくべきなのか。いろんな見えてくるものが多いと思いますので、ぜひそれを踏まえてまた次の回を迎えていただきたいと思います。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、本日の議事は以上になりますので、これ以降については事務局にお渡ししたいと思います。よろしくお願いします。</p>

(4) その他

事務局（井出）	<p>鈴木会長、ありがとうございました。</p> <p>最後に、その他として2点ほど事務局から連絡させていただきます。</p>
---------	---

事務局（小枝）	<p>2点あるうちの1点目、次回の審議会開催日です。</p> <p>次回の審議会は、11月18日（木）午後7時からを予定しています。これまで同様、新型コロナウイルスの状況を見て開催方法等は検討させていただきますが、やっぱり今日集まってよかったなと思いますので、ぜひとも対面でやりたいなと思っております。よろしくをお願いします。</p> <p>2点目は、本日の資料の最後につけた地区別タウンミーティングです。今週の土曜日から11月3日にかけて、市内5地区でタウンミーティングを開催します。委員の皆様もぜひご参加いただくとともに、市内在住・在勤・在学のお知り合いいらっしゃいましたら、周知していただければと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>並行して各種団体へのヒアリングも実施していますので、こちらについてはまだ日程調整中ですが、日程等決まりましたら、こちらについても情報提供していきたいと考えております。</p> <p>その他については以上です。</p>
---------	---

（5）閉会

事務局（井出）	<p>タウンミーティング、今絶賛参加者募集中ですが、まだ若干余裕がございます。</p> <p>今回のアンケートでも、市が実施したパブコメや意見交換会など参加したことがあるかというので、95.5%の方が「いいえ」と答えています。少し寂しい話ですので、ぜひ皆さん、都合がつく方はご参加、もしくはお知り合いの方にもお声がけいただいて、こういった市の取組を知っていただくいい機会ですので、ご紹介いただけたらと思います。よろしくをお願いします。</p> <p>では、本日の会議はこれで閉会とさせていただきます。</p> <p>委員の皆様、ありがとうございました。</p>
---------	--